

# 三十年の歩み

# 目 次

ごあいさつ	創立30周年を迎えて	日立シニア会会長	齋藤 隆	1
30年の回顧	私のお宝	日立シニア会副会長	一木 利信	2
	私の競技会運営のマニュアル	同 副会長	鈴木 三郎	2
	HSG30年の回顧	同 副会長	三好 幹人	3
	30年の歩みと私の関わり	同 副会長	久保寺 朝二	4
	ゴルフの思い出	同 監事	山崎 精二	5
	ゴルフの功德	同 監事	結城 正康	5

## シニア随筆

総務委員会	赤い帽子と10年	櫻井 政歳	6
	ライフゴルフ	佐藤 弑也	6
	ゴルフと健康	海老根 克明	7
競技委員会	ランチ&ゴルフ	桜井 正一郎	8
	HSGは、H健康、S微笑、G良き人生	山崎 善弘	9
	目覚め	高島 祐吉	9
	日本オープンで得たもの	小又 洋次	10
	大甕ゴルフ雑感	皆川 公	10
	勇気ある慎重さ	涌井 滋	11
エチケット委員会	昭和四十八年の思い出	鈴木 敏彦	12
	マナーを大事に	笠間 良治	12
	ゴルフの魔力	北條 勤	13
広報委員会	大みかは私達のコース	宮田 賢	13
	遺伝子	嶋野 末吉	13
	大みかコース礼賛	植田 光	14
	アンビリーバブル!	橋本 正明	14

座談会 委員会放談 シニアゴルフの明日を語る ..... 16

初代チャンピオンは語る ..... 15

いつまでもお元気でご活躍を ..... 19

## 会員随筆 私にとってゴルフとは

- |            |                    |   |            |                      |
|------------|--------------------|---|------------|----------------------|
| 大越健児 ……20  | 日常生活のメインメニュー       | ◆ | 豊澤有幸 ……29  | 週一ゴルフ                |
| 黒澤光明 ……20  | シニアゴルフ30周年を祝う      | ◆ | 津田幸郎 ……29  | 宇宙とゴルフ               |
| 久保英章 ……20  | 子供に教えられた米国ビジネス     | ◆ | 初谷荘一 ……30  | 生活の一部に               |
| 澁口七郎 ……20  | 私にとってゴルフとは         | ◆ | 吉岡正幸 ……30  | 良き先輩に恵まれて            |
| 内藤凱夫 ……21  | ゴルフはこれから友達         | ◆ | 野澤猛 ……30   | ハンディキャップ通知と<br>会社の辞令 |
| 綿引邦彦 ……21  | 心の友と個性豊かなゴルフを      | ◆ | 近藤晋司 ……31  | 近くて遠い国のゴルフ           |
| 小林昭 ……22   | 私のゴルフこと始め          | ◆ | 大内政男 ……31  | 追憶(ホールインワン)          |
| 幸田智一 ……22  | 一流プロのキャディ体験        | ◆ | 清宮新一郎 ……31 | ゴルフを始めた頃             |
| 三好文之 ……22  | 面打ち・球打ちを楽しむ        | ◆ | 渡部正義 ……31  | 私にとってゴルフとは、<br>魔物である |
| 鷹野重威 ……22  | 楽しいゴルフをめざして        | ◆ | 菅谷恒朗 ……32  | 私の健康ゴルフ              |
| 山田和夫 ……23  | ゴルフは道場             | ◆ | 熊澤武寿 ……32  | ゴルフで健康の維持管理          |
| 岡田定五 ……23  | 大甕コースでの記録と夢        | ◆ | 堀口二三男 ……32 | 魔の四番                 |
| 渡邊則之 ……23  | 私にとってのゴルフとは        | ◆ | 藤田昭 ……32   | ボギーで回れる<br>ゴルフをしたい   |
| 金澤義久 ……24  | ゴルフは健康維持の良薬        | ◆ | 伊藤秀雄 ……33  | 私とゴルフ                |
| 清水貞一 ……24  | ゴルフ交遊録             | ◆ | 宇津威 ……33   | 孫とのゴルフに期待            |
| 大島俊彦 ……24  | チャレンジすべきもの         | ◆ | 桑島敏夫 ……33  | 唯一の楽しみ               |
| 戸島均 ……24   | ゴルフは友情の掛け橋         | ◆ | 曾根原隆士 ……33 | ゴルフは健康の友             |
| 小沼栄 ……25   | 仲人役とゴルフ            | ◆ | 田中治彦 ……34  | アメリカでのゴルフ            |
| 綾部平八郎 ……25 | ゴルフの魅力             | ◆ | 田島増陸 ……34  | ゴルフで危険な体験            |
| 青木忠 ……25   | 5番ホールでイーグル         | ◆ | 坊坂明 ……34   | ゴルフとかけて              |
| 橋本宏 ……25   | ゴルフの面白さはなぜ欠点なの?    | ◆ | 角田啓輔 ……35  | ゴルフは終生の友             |
| 佐々木六漏 ……26 | 大甕クラブでの出会い         | ◆ | 斉木虎夫 ……35  | 私にとってゴルフとは           |
| 小野寺敬 ……26  | スイングへのこだわり         | ◆ | 田崎健治 ……35  | バレーボールからゴルフへ         |
| 安藤捷治 ……27  | ゴルフ人生 三つの夢         | ◆ | 山本清 ……36   | 幻のホールインワン            |
| 酒井功一 ……27  | 有難や おおみかコース        | ◆ | 荻原覚 ……36   | ゴルフにおける出会い           |
| 石田康彦 ……27  | 私のゴルフの歩み           | ◆ | 佐藤幹夫 ……36  | ゴルフは唯一の運動            |
| 河村孝生 ……28  | やめられないゴルフ          | ◆ | 国谷啓一 ……37  | 来年こそはスコアアップを         |
| 中野三郎 ……28  | ゴルフ三十九年の歩み         | ◆ | 正岡功 ……37   | 健康の友・ゴルフ             |
| 久保禎宏 ……29  | ゴルフ道場<br>“大みか”への想い | ◆ | 戸波宗彦 ……37  | 幻の優勝                 |
| 壁谷宗春 ……29  | ゴルフは自分の<br>写し絵のよう! | ◆ |            |                      |

大みかゴルフ場の沿革 高橋市蔵 .....	38
-----------------------	----

シニア会会則と発足当時と現在 .....	46
日立シニア会報の歩み .....	54
HSG会報川柳集 .....	56
HSG発足からの年表 .....	60

## 古き良き日々の

<b>【写真】</b>	日立シニア会歴代会長 .....	5	
	戦前の日立ゴルフクラブ .....	7	
	往時の先輩諸氏 .....	8	
	常陸宮殿下のご来場 .....	12	
	Photo Album .....	69	
	第174回競技会記念写真 .....	70	
<b>【追憶】</b>	大甕ゴルフクラブの思い出 .....	今井 恒三郎 .....	7
	大みかゴルフ場の名物男 .....	21	
	小平さんの思い出 .....	寺師 秀磨 .....	45
<b>【エース】</b>	三度目のイーグル .....	中野 三郎 .....	26
	あの時の一打 .....	村尾 勝衛 .....	28
	(歴代ホールインワン名鑑)		
<b>【余録】</b>	カラスが鳴かない日はあっても .....	23	
	ゴルフ数え唄 .....	二平 豊治 .....	37
	大みかクラブ ゴルフのれい明を刻む .....	読売新聞 .....	53

## 思い出は今も熱く

編集後記 .....	72
------------	----

表紙写真 斎藤 隆  
 題字 鈴木 三郎  
 イラスト 桜井 正一郎



## 創立30周年を迎えて

日立シニア会会長 齋藤 隆

日立シニア会が創立30周年を迎えるに当り巻頭に挨拶を載せて頂けるのは光栄です。

日立シニア会が発足したのは、昭和48年の4月で、大みかゴルフ同好会員は年々増加してきたので定年を迎えた会員を分けて競技会を行う方がよいとの事で、58才を過ぎた同好の士を集めて日立シニア会が発足しました。初代会長は柴田正男さんで、顧問5名、幹事3名で発足しました。会員は60名でしたが、その内大多数の方々が故人となり現在ゴルフをプレーできるのは一木さんと私だけになりました。感無量なものがあります。

昭和61年には顧問がなくなり幹事は5名となり、会員は74名となりました。

昭和63年に柴田さんが他界されたので橋本敦夫さんが会長に就任されました。会員も次第に増え100名を越すほどになり、競技会の開催通知や競技の成績発表、表彰など事務局でも手が廻らなくなったので、幹事の鈴木三郎さんに一任する形となりました。平成8年に橋本さんが会長を辞任したいとのことで、4月の総会で高橋市蔵さんが会長に就任されました。同時に副会長2名、総務、競技、エチケットの各委員会の委員16名が選出され、会員も300名を越えました。その後広報委員会を設けて定期的に会報を発行するようになりました。平成12年には副会長3名、監事2名を設けましたが、平成13年に高橋さんが健康上の理由で会長を辞任したいとの事で不肖私が後任を拝命することになりました。高橋さんは顧問に就任、会員数も500余名となり、総会も2回に分けて行わざるを得ないことになりました。

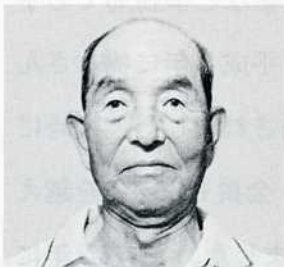
30年と言えば長いようで夢のようです。大みかゴルフ場を造られた小平翁を偲びつつ日立シニア会の今後の発展を願うとともに、この会が会員相互の親睦と健康の保持増進に寄与することを祈念して止みません。



## 私のお宝

副会長 一木 利信

昭和57年8月18日栃木県鹿沼市にある皐月ゴルフクラブで、東京のプロゴルフショップ主催のゴルフコンペがおこなわれ、懇意にしていた大学の先生のお誘いで私も参加しました。先生のお計らいで宮本留吉プロ（当時79才）と1ラウンドする幸運に恵まれました。プレー終了後宮本プロより写真のような書をいただきました。これを今はお宝として大切にしています。宮本プロは日本最初のプロ（プロ1号）で、1926年に開催された第1回日本プロゴルフ選手権で優勝、以後日本プロで3回優勝、当時の日本ゴルフ界では神様のような人でした。ラウンド中ゴルフについてのお話やアプローチ、パット、マナー等についても教えをいただきました。大みかゴルフ場建設に当っては、直接の担当者加沼益三さんも宮本プロに相談され、指導を受けられたようで、宮本プロも何回か大みかゴルフ場に足を運んだと言っておられた。



## 私の競技運営のマニュアル

副会長 鈴木 三郎

私は日立シニア会の競技のお世話を昭和56年頃より引受けましたが、当時大みかコースの支配人でした故山田清さんが支配人をやめる話があり、故樋熊常雄さんより、シニア会のお世話の依頼があって、引受けてから約17年の年月が経過しました。お世話の主な内容はシニア会のコンペの日付を決め、会員各位への連絡、賞品の準備などです。しかしお世話する基本資料がなかったので、どうすれば能率のよい方法があるか、色々考えて、自分のそれまでの経験を基礎に以下の様な項目別に内容を分類して進めました（平成7年頃）。

(1)名簿を作ること。

- ①案内状作成用名簿（組別、地区別（日立地区）（ひたちなか地区）（水戸地区その他））
- ②年会費納入チェック名簿。（組別、地区別）

- ③コンペ成績一覧表を作成し、2年に1回各人のハンデキャップの改定に使用。
- (2)競技日程表を作成
- ①毎月2月から3月の間、年間コンペ日程表（月別、組別）を作成し、一部を会長名で日立庶務課へ提出、同時にコース事務所、並びに各委員に配付する。
- ②その日程の内容として、コンペは4月はA、B組合同で総会を兼ね、第1木曜日に行く。以外は6月、8月、10月、12月、3月とする。A組は各月の第1木曜日、B組は各月の第3木曜日とする。参考として日立工場とコース事務所の休日を確認する。
- ③案内状による出欠の返事は奇数日の20日頃とし、出席人数により、賞品依頼を確定する。賞品は出席人数の半数とする。
- ④案内状は往復ハガキを利用する。
- （往信）（表）本人の郵#と宛名、（裏）に第×回コンペ。会長の名前でコンペ開催と連絡内容など記載。
- （返信）日立市大みか町6-19-22  
大みかコース事務所とする。

(3)収支一覧表を作成する。（総務委員会提出用）

- ①当日を含め、次回のコンペまで諸経費（案内状用ハガキ代、賞品代の受取証、並びにコンペ当日の入金総額の領収証を発行、記名捺印の上渡す。）

(4)総務委員へ提出する内容。

- ①2ヶ月分の収支内容一覧表。  
②上記内容としての領収証（一貫番号を付す）  
③コンペの賞品一覧表。  
④その他。

以上の項目についての内容を控帳簿を作成して年度別に保管する。長い間担当して競技の運営をやっており、種々のむづかしいことなどありましたが、苦しみを何時も楽しみにとそんな意欲をもって、少しでもシニア会のお役にたてばと思って続けております。

（鈴木三郎さんはゴルフ成績も立派です。これまでに2回のエージシュートを達成しております。  
平成5年（79才）79、平成14年（88才）88 何れも日立ゴルフクラブ（石崎）



**HSG30年の回顧**

副会長 三好 幹人

首記の題名を戴きました。私は昭和61年6月の入会なので、未だ半分位しか在籍しておらず、自分史的なものになりそうです。

昭和30年代のゴルフは人口も少なく、贅沢なスポーツでした。私は昭和40年になってから始め

ました。44歳になってからで、少しはレッスンを受けてからコースへ出たけれど、1ラウンドのグロス158で同伴者に多大の迷惑をかけました。HSG入会の頃は月3回位コースに出ており、年間平均のラウンドスコアは百を切る位になっていました。

平成5年の頃目白クラブで電機関係の会合があり、大変ゴルフを愛でられていて化成の社長をされた、高木正様よりゴルフの人生観に関して、「停年後は健康ゴルフに精進し、君等はどうせエイジシュートは出来ないから、せめてエイジラウンド位達成したらどうだ」と教わりました。それから週2回のラウンドを目標に、別件が無ければ月木は大みかGCと云う恵まれたゴルフ場で、プレーを続けており年間80ラウンドは達成しております。お陰様で停年後は年1回の人間ドックにも入らず、病院のお世話にならない人生を送っています。本誌の発行される頃には生涯のラウンド数も2千回に近づかんとしております。脚を丈夫にするにはゴルフが第一ではないでしょうか。或る新聞に百歳の元医者だった人の記事が出ていましたが、「ゴルフは健康と楽しみのためにするんだよ、怒ったりして寿命を縮めたら意味ないもの」と話され、日木と週2回のゴルフに励んでおられるようです。

500名を越えるシニア会の皆様も健康で長生きの秘訣はゴルフだと決めて大みかGCへ通っては如何でしょうか。30年の回顧と致します。



## 30年の歩みと私の関わり

副会長 久保寺 朝二

日立シニア会がS48年発足以来、先輩諸公の旺盛なボランティア活動によって、連綿と30年継続されたことに先ず敬意を表する次第である。自分と日立シニア会の関りを考えると、S48年当時はまだ現役のバリバリで、更に仕事柄単身赴任期間が長く、30年の歩みの前半15年は長老連が元気でプレーをしていることを仄聞するに過ぎなかった。

丁度15年を経過した時点S63年に現役をリタイヤして、日立シニア会に入会してお世話になったと記憶している。当時は鈴木三郎さんをはじめ競技委員の方々が、会の運営に大変熱心に苦勞されていることを敬意の眼で眺めていた。それがここ7年ほどは、総務委員長、広報委員長を仰せつかり、日立シニア会にどっぷりと浸かるようになるとは想像もしていなかった。

私のゴルフ遍歴は会報第5号で記載しているので省略するが、S39年ゴルフをはじめるとあって、先輩から厳しく教えを受けたことを今でも有難く感謝している。その一つは会瀬の鶏小屋（小規模の打ち放し練習場）で打ち方の基本を教わった。その二つはマナーを教わったことである。これが大みかGCで人見学校の優等生で居れた所以かも知れない。

閑話休題、日立シニア会の委員にはボランティア精神旺盛な優秀な若い人が多くいる。日立シニア会が益々隆盛に、次の30年に向かって歩み続ける事を期待したい。



## 日立シニア会 歴代会長



初代会長  
柴田正雄  
1973～1988



第二代会長  
橋本敦夫  
1988～1996



第三代会長  
高橋市蔵  
1996～2001

## ゴルフの思い出



監事 山崎 精二

ゴルフの始まりは昭和42年当時の日研所長故田口さんからやれと命令されたようなものだった。大みかコースで第1日はマナーだけを教育された。次週はアイアンの練習だけである。その後中絶があつて上達しなかった。

私の不熱心のためである。しかし良いスコアーは？

10数年前HECの事業所主催コンペで、那須小川GCで、Hd18の時に90で優勝した。Hdは一気に14にUpした。半年後高萩GCでのコンペで、又2オーバーで優勝した。グロス88が私の生涯での最良のスコアーである。

最近は100を切れない。シニア仲間Uさんからは練習不足のせいだよと言われる。80才越した方から言われると年のせいに出来ない。つくづく始めた時にしばらくは熱心に、出来ればプロについてしっかり練習しておくべきだったと後悔している。80+α才まで続けたいものだ。

## ゴルフの功德



監事 結城 正康

もうゴルフを始めてから40年以上もたってしまった。よく続いたものと自分乍ら感心している。好きこそ物の上手なれと昔から云われているがその通りで、頭初は雨の日も風の日もプレイがOKなれば勇躍して出かけたものでした。皆さんも恐らく経験のあることでしょう。腕が少し上って仲間も増えた頃はお互に賞めたり、けなしたり喜び合ったものでした。ゴルフは健康によい、仲間が出来る。高年になっても出来る。又人生を豊かにする等々よいことづくめですが、今日特に感じていることはストレス解消に絶大な効果があったことでした。女房いわく貴方には何事にもストレスがないのでしょうかと云われ、正に適中している。有難い極みである。

## シニア随筆

日立シニア会委員

### 赤い帽子と10年

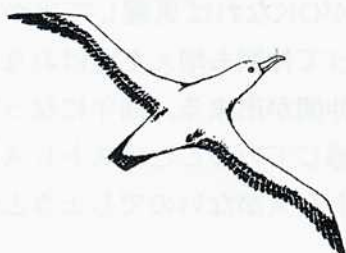
総務委員 櫻井 政歳



HSGの赤い帽子とのお付き合いは、H5年入会申請をした折、入会の条件の如き話で「競技会の手伝いを…」と言われ渡された時からである。入会当時のハンデは16、赤い帽子をかぶってプレイするにはもっと努力せねばと頑張ったつもり、だがハンデ14が最高で、その後は年令は年に1ツと決まっているのにハンデは何故か2ツずつ増え、H11年にはハンデ28となり（H10年より左目がほぼ失明のアクシデントもあるが）競技委員失格？総務に鞍替えとなり現在に至っている。

HSGには80歳を越え、益々元気にプレーしている多くの先輩会員の姿を見るにつけ、「参加することに意義がある」とか「プレー出来る喜びを……」ではなく、私はまだやっと古希、赤い帽子と10年である、これから喜寿、米寿まで、5番ホールの坂も何のその、大みかコースを愛し、愛され、頑張っていきたい。

「HSG永遠に!!」「大みかコース万歳!!」



### ライフゴルフ

総務委員 佐藤 弐也



今、私のゴルフに対する感覚は「ライフゴルフ」。

ゴルフを始めたのは30代中頃であったが年間50回にも及ぶラウンドプレーをした熱中時代、50代の後半に健康を崩してクラブを握れなかった空白時代、そして復帰して人生の友として親しく付き合っている現在のシニア時代と続く。

1994年55歳の時、私は急に倒れた。それから闘病生活が始まり4年間ゴルフから離れていた。倒れるまでは、特に病氣もせず仕事に興味にと頑張っていただけに、闘病生活は私の人生を大きく変えた。その後は健康回復を目標に、先ずゴルフのラウンドプレーが出来るようにしたいと練習にも励んだ。私の健康を心配して下さいました研究所時代のゴルフ仲間が、1998年に入り復帰第一戦のコンペを開いて下さった。私にとって、記念すべき一日であった。ご一緒頂いた方々には感謝の気持ちで一杯であった。

この時から、私のゴルフはライフゴルフとなった。単に趣味として楽しむだけのものではなく、心身共に健康を維持していくために、我が人生に欠かすことの出来ないものと考えている。

## ゴルフと健康

総務委員 海老根克明



私は 根っからのゴルフ好きである。特にシニアになってからは 日常生活のあらゆる事がゴルフを中心に動いている。

スケジュール表には真っ先にゴルフの予定がかきこまれ、これを乱す行事は、よほどの事が無い限りほとんどカットされる。

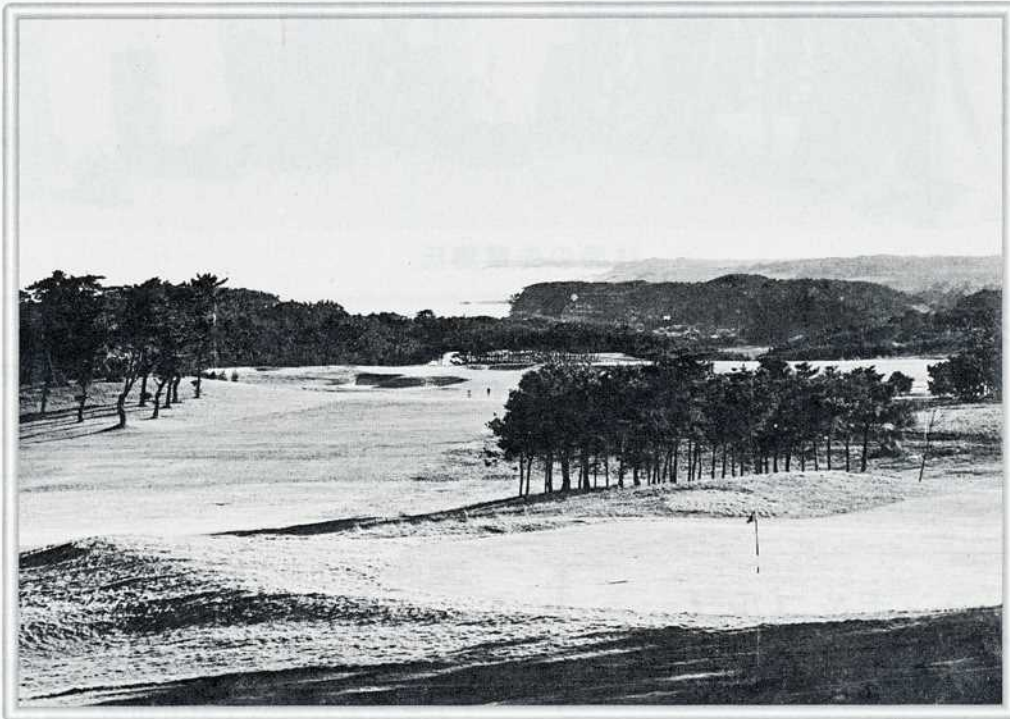
それなら この悪友の目を覚まさせない手はないものだろうか？それがダメなら、せめて怒らせずに付き合い通す方法はないものか？目下最大の悩みである。

万事がそんな生活の私にも 最近は厄介な障害物が増えてきた。

頰椎・肩・背筋・腰・膝……等々 ゴルフにとって最も大切な部分の障害である。

健康の為にゴルフをやるつもりは毛頭ない。ゴルフをやる為に健康で居たいのである。まだまだ楽しくゴルフが出来る体を維持したいのに我が身に巣食ってしまった悪友はしつこく居座って立退く気配もない。

戦前の日立ゴルフクラブ 本格的シーサイドコース、久慈の入江の白波が見えた。



戦前の日立ゴルフクラブ 本格的シーサイドコース、久慈の入江の白波が見えた。

## コースに思う

今井 恒三郎

20万坪の地に6,650ヤードのチャンピオンコースを持つ、当時国内有数のゴルフクラブであった。後方に風神山を、前面に太平洋を雄大にして美しい地に巧みに変化を求めながら、悠々と長打のできる誠に立派なコース。小平社長が、訪れる社賓と社友のためにつくられたもので他の会社に例をみない。こうしたコースを作ったことは、同氏数々の偉業の一つとして後世に残したい。とゴルフの健全な楽しさを知った多くの社友は心から思う。

今井氏略歴 終戦時、(日)技術部長その後日立工機専務、HEC取締役。  
几帳面な方で大みかゴルフの古い資料を多く残された。  
昭和61年4月ご逝去。



往時の先輩諸氏

駒井 藤久保 横田 関根 江間 牧野田 今尾 松野 橋本 小林  
 兼先 小西 大西 森島 児玉 鶴沼 宇野沢 今井  
 辻 和島

## ランチ&ゴルフ

競技委員 桜井正一郎



ハンドランチグライダー  
 (通称ランチ)で童心にかえり  
 大空への夢を懐かしんでいる。  
 バルサ材の小さなウイング  
 であるが、風に負けず健気に  
 飛行する姿に感動すら覚える。

自己流の設計であるが、繰返し作っているうちに自信作も生まれた。主に飛行場は日立の浜の宮運動広場、久慈浜海水浴場、笠松運動公園の野球場である。 ハヤブサ号と命名した機種

は場内狭しと飛び廻り追いかけるのに汗だくである。 孫と鬼ごっこしているようで楽しい。

この頃、ゴルフと共通点が多いと感じている。どちらもバランスが大切で、風の読みが結果を左右する。 発進時はアドレス等と同じ緊張感があり、力まかせでは失敗が多い。 目標地点へのソフトランディングは満足感の決め手になる。共に健康維持に最適と思っている。ゴルフの腕前は下降中であるがランチは上昇を続けている。

ランチのフィーリングをゴルフに生かせたら、スコアの上昇もあるかもしれないと模索している。

## HSGは、 H 健康、S 微笑、G 良き人生

競技委員 山崎 善弘



日立シニア会HSGは、Health、Smile、Good lifeと解釈し下記意味づけている。

### 1. Health (健康)

何はともあれ、健康第一、80才過ぎた先輩の、かくしゃくゴルフに憧れ、目標としたい。先輩の前では、年取ったなどと弱音ははけず、まだまだ若い。ゴルフ人生、先きゆき長く、クラブ一式買い替える価値も十分ある？と希望を与えてくれる。

どうすれば、大みか5番ホールの坂道をいつ迄もカートをはいて歩く元気を保てるか、日常生活での秘訣教えて戴きたいものです。

まづは歩く事だと思っても、如何に毎日続けるかが課題。せめてコースでは、「チョロ続き、カートに乗れずに健康ゴルフ」で下手も健康の為と割りきっている。

「一病あって生きてる証拠」体はポンコツでも気持ちは青春でゴルフに打ち込みたい。

### 2. Smile (明るい笑い)

楽しい仲間と明るく愉快地に過ごすゴルフでありたい。

「友、OB、笑った後で我れOB」共に見合せ高笑い」OBボールが飛んでれば、「ナイスOB」と手を叩く。

スコアの悪さは、次への糧と、前向き指向で練習場へ、新たな目標目指して励みとしたいが……。

笑いは、内臓を活性化させ、脳血管を太くする由、特に声出して笑う効果多きい。馬鹿笑いで人に迷惑をかけることは、厳に慎しまねばならないが、上品なウィットで、青空の下思っきり笑い合えるゴルフがしたい。そんな雰囲気が良いショットを生むと思う。

とはいえ、真の喜びは、好成績での満喫感目標たてて、悩み、励む良さが、ゴルフにあると考える。

### 3. Good life (良き人生)

省みて悔いのない人生、先づは健康で明るい生活での基礎づくりのひとつを大みか日立シニア会で養えたらと願う昨今です。

## 目覚め

競技委員 高島 裕吉



昭和四十六年、私は麻雀に熱中していた頃、幹部の方からゴルフクラブを格安（マージャンに勝って只も同然）で譲り受けたのがゴルフの始まりであった。

筆おろしは名門大洗コース、ラウンド中にキャディさんのドスの効いた浜言葉で「もっと上手になってくる所よ」ショックも大きかったがゴルフの難しさを実感し、猛練習したことを覚えている。

さて、今でも現役時代を思わせるようなロングドライブが時々飛び出す。快感を求めつい飛距離にこだわり続けてしまう。

ドライバーを変えること数回、最終的には長尺ドライバーに託したがモノにならず、邪道であるがノーマル寸法に切り詰めてもらった。（バランスは保証できない）意外や、フィーリングが良く愛用している。

「飛ばすだけが能じゃない、上っていくつの健康ゴルフ」歳と共に飛距離が落ちてくるのを痛感したら、70才にして漸く、悟りの境地に到達した気がする。

## 「日本オープン」で得たもの

競技委員 小又 洋次



平成10年度「日本オープンゴルフ」が、日本有数の難コース大洗GCで行われた。

あの、田中秀道プロが、最終18番で松林の中からのスーパーショットで優勝を飾り、大きな話題になった試合である。

私はこの日本オープンに、ボランティアとして第1・2日目のお手伝いをした。

私はこの日本オープンに、ボランティアとして第1・2日目のお手伝いをした。

プロのプレー振りを至近距離で見るとは勿論初めてで、随所で見せてくれるスーパーショットには圧倒された。それよりも身近かに接していると、プロとキャディとのやりとり、不安げなつぶやき、バーディを決めたときの喜び、がこちらにも直かに伝わってきて面白かった。

デビット石井プロについた時、評判どおり慎重で、最後のスコア提出時に小屋の中に呼ばれ、ホール毎のスコアのチェックを真剣にしたのには驚いた。お礼にとボールを手渡し、握手をしてくれたのは彼だけだった。

いま振り返ってみると、貴重な体験をして本当によかったなと思う反面、ショットが凄すぎて、残念ながら自分のプレーにはさっぱり役立たなかったなと思う今日この頃である。

## 大甕ゴルフ雑感

競技委員 皆川 公



HSG30周年おめでとうございます。この記念すべき時に、我がゴルフーツを整理して見ました。ゴルフクラブを初めて手にしたのはS40年5月、当時④庶務

課のS氏が大甕クラブの慰安旅行の留守当番を依頼され一緒に泊まってプレーした時であった。これが一生の付き合いになろうとは？

### 1. 大甕コースの変遷（当時と比較して？）

年度	ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	計
S 40	PAR	3	3	4	5	4	3	3	3	22 (28)
	YARD	120	140	335	490	285	185	95	100	-
S 42	PAR	5	4	3	4	4	3	3	3	23 (29)
	YARD	490	385	120	420	285	185	95	100	-
S 49~	PAR	5	4	3	5	4	3	3	3	24 (30)
	YARD	490	385	150	510	350	200	95	100	-
H 14 (現在)	PAR	5	4	3	5	4	3	3	3	24 (30)
	YARD	481	379	141	516	344	176	155	100	-

S40年のコースは1番=現3番。2番=現4番で3本松の手前のロープ左側でショート。3番=現2番。4番=現1番。5番と6番は現在とほぼ同じ。S42年からは現在のレイアウトとほぼ同一であるが、4番ホールが現在の池のあるところの左側でパー4であり、池はなく湿地であった。S48年に池が出来てパー5に延長され現在に至っている。

(当時のコースレイアウト添付します。)

### 2. 距離表示の変遷 (METER、YARDS)

S50年までヤード表示であったが、S51年からメーター表示となり、ヤードとの換算表を作り、密かにバッグなどに貼ったものだった。ミドルアイアンの距離が1クラブ大きくなるので、混乱を招いたものだった。

### 3. ボールの大・小とツーピース

ボールについてはラージボールとスモールボールの混在した時期があり、ラージに統一されるまでは好んでスモールを使用した。糸巻き(ダンロップ65、レクスター等)のみの時代からツーピースが同居する時代となったが、打感だけではなくツーピースが改良され硬度も種類が多いので自分好みのものを愛用しています。

Fig1 (S37年～)

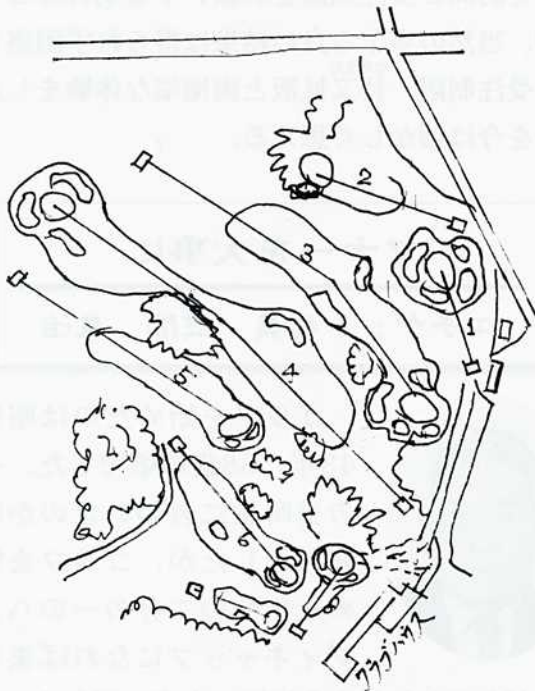
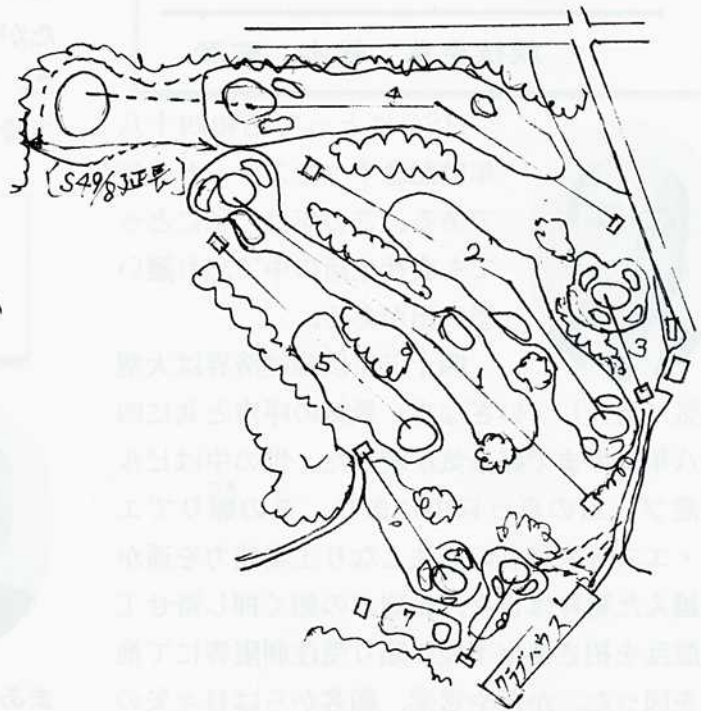


Fig2 (S40年～)



#### 4. 大甕以外のゴルフ場

大洗 (S28) 和尚塚 (S38) 水戸 (S41) 日立 (S42) しかオープンしていなかったが ¥3,000位であった。昨今価格競争で安価にプレー出来るのに大甕を含めプレーする人が少く、若干寂しい気がしてならない。(私にとっては幸いだ)

以上

### 勇氣ある慎重さ

競技委員 涌井 滋



私はゴルフを始めて三十年になる。副工場長杯参加のため、青葉台練習場での部内初心者のゴルフ教室が私のこと始めである。

コースに出るのは一万球打ってからと先輩の言。自己流ながらコースに出るまで夢中で練習した。そして何回かコース

に出るようになると、次の休みが待ち遠しく、どうにも止まらなくなる。これがゴルフの魔力？

ある冬の風邪気味のときに誘われ、大みかコースでプレーしたとき、途中から雪が降り出しでもカラーボールでプレーを続け、雪が積りボールが見えなくなったところで断念、中止した。この中断での欲求不満が爆発し、家には真っ直ぐ帰らず途中青葉台練習場で、長時間の猛練習となった。

このためその夜から高熱を発しダウン、翌朝早々に病院へ、即入院させられた。

また退院後の体力の回復に時間がかかり、数カ月間ゴルフが出来なかった。

これからは、ゴルファーの資質として重要な『勇氣ある慎重さ』がたりなかったからと、思い出すたび反省させられる。



## 昭和四十八年当時の思い出

競技委員 鈴木 敏彦



HSGにとって昭和四十八年は記念すべきスタートの年である。この年は、私にとっても会社生活の中で忘れ難い思い出がある。

四十三年以降経済界は大型景気に突入し「いざなぎ」景気の呼声と共に四十八年後半まで好景気が続いた。世の中はビル建設ブームの真っ只中にあり、この煽りあおでエレ・エス等未曾有の受注となり工場能力を遥かに越えた物件は日々、鉄砲水の如く押し寄せ工程混乱を招き消化不能おちいに陥り受注制限等にて挽回を図った。かたや営業、顧客からは日々矢のような工程督促を受け当時水技にいた私は対応に苦慮したことを覚えている。然し同年十一月に入り新聞紙上でオイルショックが報道され、政府非常事態が宣言されるや一転受注は激減し

作業量確保が急務となった。翌年には営業、特約店を訪問し受注拡販をお願いする羽目になったが、当然の事乍ら良い結果は得られず困惑した。受注制限、将又はたまた拡販と両極端な体験をした当時を今は懐かしく思える。

## マナーを大事に

エチケット委員 笠間 良治



ゴルフを始めたのは昭和43年、38歳の頃でした。その当時誰に言われたのかは忘れましたが、ゴルフを始めた年令の二分の一のハンディキャップになればまあまあだと言われたように思います。現在オフィシャル・ハンディキャップが19なので、我流にしては良い線かと思っています。私が始めた頃は周囲の先輩方に、マナーについて厳しく指導されたように思います。一方、ボールの打ち方については余り指導された記憶がありませんので、今でも明治の大砲ですが、マナーだけはお陰で身に付いていると思っています。それにしても最近のゴルフ場ではマナーを余り気にしない人も多いようですが、これはテレビのプロゴルフ・トーナメント中継を初めとして、プレーだけを追求する現代気質なのでしょう。ゴルフのプレーに関するマナーとエチケットはゴルフ精神の基礎となっているもの。心したいものです。ずいぶん昔の事ですが、大甕6番ショートホールで後続パーティの人が打ったボールが、グリーン後方で待機していた人の口を直撃した事がありました。天候によってはボールの行方を見失う事もあり、身の安全も守りながらプレーを楽しみたいと思います。

### 常陸宮殿下ご来場



昭和35年4月6日

常陸宮殿下

駒井健一郎

倉田主税



## ゴルフの魔力

エチケツト委員長 北條 勤



万事に比較的飽き易い小生だが、ゴルフだけは何故か三十五年も続いている。止まっているボールをクラブで叩くだけの簡単な運動だからかも知れぬ。しかし考えてみると

この簡単さこそが「ゴルフの魔力」なのである。人に負けまいと少しは練習場に通ったりもする。良いクラブをと、自分の腕以上のクラブを買ったりする。コースに出れば自惚れが頭をもたげて、人に負けまいとついつい力が入る。こんな筈ではと力めば力むほどスコアが崩れて平常心を失う。平常心を失うのも「魔力」である。スコアが悪ければ「よし、今度こそ」とリベンジに燃え、よければ「夢よもう一度」といそいそとコースに行く。これも「魔力」である。しかし年を取っても出来る。何時迄も上手になりたいと向上心を燃やす。人に負けまいと頑張る。ラフもバンカーもOBもすべては自分の責任、カッとせず平常心で乗り切る。ゴルフは精神修養の道場、矢張り「ゴルフには魔力」がある。何時までも「魔力」に酔って続けたいと思っている次第である。

## 大みかは私達のコース

広報委員 宮田 賢



大みかコースにはS44年から通い始めた。当時は、コース事務所が古びた木造の2階にあり食堂も一緒だった。外階段の前がロッカー棟で、ベニア板のロッカーが並んでいた。貸しロッカーにクラブ・バッグは置きっ放

し手ぶらで通った。昼食は通常カレーライスのみしか選んだ記憶がない。ビールが大瓶は覚えている。

会社休日のプレーも待時間が少なく、ラウンド数は無制限。利用料金は給料振込み、直接自分の懐が傷まないのも無料みたいな感覚だった。おばちゃん達が、半円形のボール除けネットで草取りしてる光景は、コース内の風物詩に見えた。まさに大みかは私達のコースだった。

バブル景気によるゴルフブーム時代があった。各ゴルフ場は競って豪華なクラブハウスを建てた。大みかも今の姿に建て変えられたものの至って質素である。大みかコースに係わった人達が、ここは健全なスポーツの場と位置づけていたからではないでしょうか。大みかはカートを引き、歩いてプレーできる稀にみるコースである。80歳を過ぎての5番坂は聊かこたえるが、いつまでも私達のコースでありたい。そう思いながら、やってみなければ分からないという始末の悪いゴルフを、今も続けている。

## 遺伝子

広報委員 嶋野 末吉



体調からゴルフが出来なくなつて3年になる。それでもシニアの会報づくりは続けている。皆怪訝な顔をするが、私にとって特に不思議なことではない。

「会報を出したいのでやってくれ」と依頼され、もう7年になる。奴ならやってくれるだろうと声を掛けてくれた先輩も、「もういいよ」とは言わないだろうから、まだしばらく続かかも知れない。

『お母さん、82歳になりました。』

『よいお爺さんで、世に尽くしております。』

これは、丸岡町で募集した「日本一短い母への手紙」に入賞した作品の一つである。

私も親父の歳を超えて10年になる。お袋の歳へも、もう手が届く。変な勘定だが、両親とも旅立ったときから歳をとらないのだから、私の方で追い越して行くことになる。

私たちは両親を選んでこの世に生まれた訳ではない。が、その遺伝子を受け継いでいる。最近、父の生前の知己から、「よく似てきたね」と言われる。顔が似てるいのではない。親父は人に頼まれれば、一銭にもならないのに、時間を割いてやる人であった。家の柱に「忘己利他」とか書が架けてあったが、似て欲しくもないところがよく似るものである。

## 大みかコース礼賛

広報委員 植田 光



「HSG30年の歩み」発刊にあたり、偶々会報の編集を仰せつかっている立場で拙文を書くことになりました。

昭和十一年生れの私は、同じ十一年にオープンされた「日立ゴルフ倶楽部」（現大みかゴルフコース）には、少なからず愛着を抱いております。二十数年前、ゴルフを教わり、技術を学んだコースは、コース設計の名手故井上誠一氏による県内最初のコースの由、黒松を美しく配し、彼方に太平洋を望み、夏涼しく冬暖かい。特に六番ショートホールに立つ時、前方の青い屋根の神殿造りに何故か畏敬の念が湧きます。広々と続く芝生の先の左右バンカーに挟まれたグリーンに何回ワンオンしたことか。またハウスから眺めても素晴らしい。悠然と広がる天と地、その先のティグラウンドに吸い込まれる感じがします。過日このコースでHSG第一回チャンピオン大会があり、図らずもハンデのお陰で準優勝させていただきました。シニアとなりコース攻略など、おおそれたことは考えず、あるが儘コースに遊ばせていただきたいと思っております。

## アンビリーバブル！

広報委員 橋本 正明



『ミドルホールOBでパー』15年程前はかなり大きなコンペであった出来事。場所は日立高鈴のNO6ホールで、スタートはまずまずの出来であったが、このホールでのティショットは、絶対打ってはいけない隣のショート谷に打ち込みOB・キャディーは、事務的な態度で「前進第4打をお願いします」

今日も駄目か？と半ば諦め気味でのショットが、意外と方向、角度ともいい感じで、上手くいけばボギーであられるかもとの期待！が、グリーン上には球が無く、やはり駄目だったかとピンを覗いたところ、なんと驚くなかれ、中には見覚えの球が！それ以後は、やることなすことすべて思い通り。挙句に優勝にあやかった次第。優勝の挨拶は「ミドルホールでOBしたが、あがってみたらパーでした」それ以降OBをやっている俺にはパーである力がある！と思いついてはいるが、二度と出来た試しは無い。とに角ゴルフは面白い。



## 初代チャンピオンは語る

岡田伸一

日立シニア会の初代チャンピオンになることができ大変光栄に思っています。ハンデ戦のためローハンデの小生にはチャンスはないものと思っておりましたが、ツキにも恵まれ1ラウンド22の大みかのコース自己新を記録したりしてグロス73という予想外の好スコアで廻ることができ、図らずも優勝することができました。

最近は時間の余裕もあって練習量は比較的豊富で、その成果が現われたのかも知れません。

近頃はリタイヤ組の仲間と毎週定期的に練習場集ってダベリングや打込みをするのが楽しみの一つになっています。週に3日位、一回に200球位はクリヤするようにしています。また、最近は道具の進歩が著しく高機能のクラブやボールがいろいろと発売されており、小生もこれを大いに利用させてもらっています。御多分にもれず年令とともに飛距離の低下に悩んだ末、高反発ドライバーをいろいろ試した結果、20ヤード近く距離も伸び240ヤード位は確保できるようになりました。スコアメイクにはやはり飛距離が一番の武器だと思います。まさに、スコアを金で買えるようになったわけです。

以前、本会報にアマチュアゴルフは品位・品格が大事などという生意気な一文を載せてもらったことがあります。今後は初代チャンピオンとしてこれを実践できるよう精進していきたいと思えます。

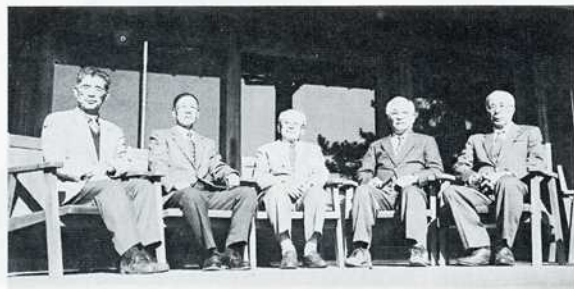


### 「チャンピオン戦についてのメモ」

H14年に新しく制定したもので、前年度中の競技会において3位までの入賞者とベストグロスになった人を対象に、前年度末のハンディでの競技会である。優勝カップに名を刻み、後世までその栄誉が残ることでしょう。



## シニアゴルフの明日を語る



日立シニア会の各委員会をリードして居られる、総務・石崎氏、競技・阿部氏、広報・吉田氏、エチケット・北條氏の各委員長にお集り戴き、現在の活動状況から明日への方向について語って貰いました。司会は本誌の編纂委員会主査・久保寺副会長にお願いしました。

### 先輩諸氏に感謝



司会者・久保寺主査

【司会】日立シニア会が発足した昭和48年は、第一次石油ショックから始まる不穏な時代の訪れを感じる世情でありました。一方、

スポーツ界では、その年のプロゴルファーの片山晋呉が前年には貴乃花、翌年には巨人軍の松井選手が生まれ現在活躍しています。この間、日立シニア会もいろいろなことがありました。本日は、HSG30周年誌の発刊に当り、これまでの会の活動を振り返り、更に将来へのご意見などを語って戴きたいと思ひます。では、最初に発刊に当り、ご感想を一言づつお願いします。

【石崎】シニア会が30年もの長い間、発展し続け現在に至ったことを先ず喜びたいと思ひます。その源は会員の暖かい御協力と取り纏めに当って来た役員各位のご努力の賜と思ひます。30



石崎・総務委員長

年誌の発行は一つの区切りとして時宜を得ていると思ひます。

【阿部】そうですね。30年間に亘り種々の記録が残っており、それが現在まで続いているということは、先輩諸氏の几帳面さかと私も感心しております。

【吉田】その記録によれば、第1回競技会は昭和48年5月16日とあります。私は当時（日）の渉外役を務めていたので、発足時の会員の方々には顔見知りが多く、少なからずご指導を戴きました。その諸先輩のお陰でHSGという立派な同好会が出来、老童と化してゴルフを楽しめるのは誠に有り難い限りです。

【北條】私も本誌の編集に参画させて頂き、改めて歴史の重みを感じさせられました。この30周年誌はHSGの歴史であるばかりでなく、日立としての歴史の一部であり、また、日立を今日あらしめた社員の歴史でもあると思ひます。会員の方々も感慨深く読まれることと思ひます。



北條・エチケット委員長

【司会】それでは、これまでの各委員会の足跡

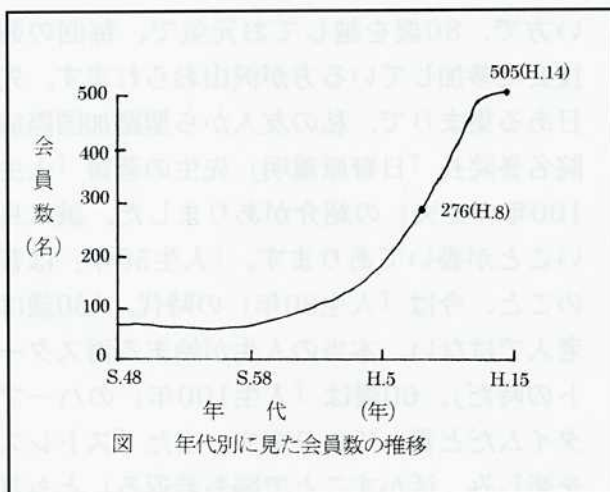
について簡単に紹介していただけますか。平成8年に総務委員会、競技委員会そしてエチケット委員会が発足しましたので、各委員会から説明願います。

【石崎】総務委員会の初代委員長は久保寺（現副会長）さんで、翌9年に二平豊治さんが引き継がれ12年まで務められました。13年に黒沢秀一さんがなられ、私は14年から4代目としてベテラン櫻井さんはじめ3名の委員の方々と裏方の仕事をさせて頂いております。会員の動向（入退会）、年会費の徴収などが主な仕事でしょうか。

【阿部】競技委員会の初代委員長は鈴木（現副会長）さんで委員数は8名でした。私は平成10年から2代目を務めさせて頂いております。会員の人数は図に示しましたように、平成8年に276名でしたが、現在は505名に増加しております。それ故、競技案内、成績の取り纏めなど仕事量が殖えており、委員の皆さんには大変ご苦勞を掛けています。



阿部・競技委員長



【北條】初代エチケット委員長は三好（現副会長）さんで、私は14年から2代目を引き継ぎました。エチケット委員会としては、平成9年にマナー・エチケット集を作成し全会員に配付しております。翌10年にはマナーカードの発行を開始しました。そして14年か

らは、会報にルール・ミニ解説の連載記事を開始しました。

【司会】平成9年に広報委員会が発足し、実は私が委員長は仰せつかり13年まで務めてきました。14年から吉田さんに2代目をお願いしております。

【吉田】と云う訳で、広報委員会については、久保寺さんが一番お詳しいわけです。平成9年7月に会報創刊号が発行されております。現在は宮田先輩、編集長格の嶋野さん達5名の委員さんに御尽力頂いてやっております。そして、会報は現在13号まで続いております。



吉田・広報委員長

【司会】会報発刊については、当時の総務委員長・二平さんから話があり始まったもので、会員間の親睦の一つになっていると思います。

## 現状と課題

【司会】それでは、次に現状に付いてお話いただけますか。

【吉田】先程から話題になっております会報ですが、12号から従来のB5判からA4判に致しました。そのため紙面に多少の余裕が出来たこと、また活字ポイントを大きく出来ましたので読み易くなり好評を頂いております。また各委員会に広報担当を決めさせて頂き、内容の充実を図っています。

【阿部】会員の急速な増加で仕事量は増えておりますが、我が競技委員会ではワークシェアリングを行っており、比較的うまくいっていると思います。平成13年からチャンピオンシップ戦を開始しましたところ、それに向かって頑張っているという人もあり喜んでおります。

【北條】大みかゴルフ場における会員のマナーの向上については、HSGの会員がビジターや他会員の方々への模範になるべきとの姿勢

でやっております。勿論、安全第一と考えております。

【石崎】総務委員会としては、近年の会員増しで年会費の徴収が大変になっているのが現状です。特に競技会に参加されない方の納入が遅い傾向があります。是非、ご協力をお願いしたいというのが本音です。

【司会】大変ご苦勞かけている委員さん達のためにも、会員の方々にはご協力をお願いしたいと思います。次に、そういった課題について、何かありますか。

【阿部】確かに会員数は増えているのですが、競技会への参加率は必ずしも高くありません。率で言うと40%位でしょうか。大みかコース離れという現象もあるようです。

【石崎】私も気になり、大みかコースの会員利用度について調べて見ました。年間の利用回数は平成7年が17回、10年が10回、そして14年が4回と低下が著しいようです。

【北條】一つには社会情勢の変化とも言えるかも知れませんが、一般のコースではプレー費が安い所に人気が集まっているようです。

【吉田】経費のことを言われますと耳が痛いのですが、会報も見易くするためには半分位カラー化にしたいという希望があります。また、編集上イラストの挿入が課題で、マンガを描く人おりませんか。

### 将来への展望

【司会】最後に将来への展望について、ご意見をお聞かせ下さい。

【阿部】シニア会は敬老精神が大切ではないでしょうか。現在は4組ですが、もう一組「ゴールドクラス」を設けては如何でしょう。

【全員】それは結構ですね。

【阿部】意を得ましたので、もう一つ提案します。同じ大みかコースのメンバーとして、現役会員、SL会などと交流試合を行なうというのは如何でしょう。

【石崎】大みかコースを愛するという意味でも私も賛成です。HSG会員は大みかコースの

歴史を学び、愛場（場：コース）精神を持って、健康ゴルフ（歩く）に親しんで欲しいと思います。

【北條】大みかコースを愛するために、皆さんが苦勞している5番ホールに日立GCあたりから、リフトを頂いて取り付けは如何でしょう。もう一つ、プラスチックなどで、各ホール毎にエチケットの標識を掲げて置くのを提案します。

【全員】それも面白いですね。

【吉田】会報については、一人でも多くの会員に会報に登場して戴きたいと思っています。是非会報誌は自由投稿誌とお考え戴き何でも遠慮なく寄稿される様お願いします。会員の中には、健康その他の事由にてコースに出られない方も居られるでしょう。そんな人達との掛け橋にもなれば幸いと思います。

### 老 壯 鼓 吹

【司会】どうも本日はご苦勞様でした。最後に当り、皆様に語って戴いた夢を実現させるためのエールとして「老壯鼓吹」の話をさせて戴きます。日立シニア会のメンバーは皆さん60歳以上ですが、60歳、70歳は未だ未だ若い方で、80歳を越してお元気で、毎回の競技会に参加している方が沢山おられます。先日ある集まりで、私の友人から聖路加国際病院名誉院長「日野原重明」先生の著書「人生100年の工夫」の紹介がありました。誠に良いことが書いてあります。「人生50年」は昔のこと、今は「人生80年」の時代。「60歳は老人ではない。本当の人生が始まる再スタートの時だ」。60歳は「人生100年」のハーフタイムだと書いてあります。また「ストレスを楽しみ、活かすことで脳も若返る」とも言っております。「歩け歩け」がストレスに勝利する最善の方法だそうです。大みかのコースをカートを引っ張って、大いに歩いて脳を若返らせましょう。

（平成14年11月14日、大みかクラブにて、  
記者：佐藤弐也、海老根克明）

# いつまでも お元気で活躍を

## 米寿・傘寿・喜寿以上の長寿者会員

平成15年 3月現在

鈴木三郎	大正 4年 3月	桜井博一	大正13年10月
高橋市蔵	大正 4年 7月	岡部萌生	大正13年11月
斎藤隆信	大正 5年10月	野澤猛	大正13年12月
一木利信	大正 5年10月	杉山千栄	大正13年12月
藤本裕	大正 6年 9月	小沼栄	大正14年 1月
高須徳二	大正 6年10月	綾部平八郎	大正14年 3月
松井千里	大正 7年11月	黒沢秀一	大正14年 6月
久米靖康	大正 8年 5月	田島増陸	大正14年 7月
結城正夫	大正 8年 9月	山崎精二	大正14年 9月
斎木秋夫	大正 8年11月	二平豊治	大正15年 1月
桑島千肇	大正 9年 5月	浅野次夫	大正15年 1月
酒井肇	大正 9年11月	菅原寧	大正15年 2月
鷺山重也	大正10年 1月	山本清夫	大正15年 3月
杉江俊夫	大正10年 4月	永井秀夫	大正15年 4月
三好幹人	大正10年 4月	丹羽誠一	大正15年 5月
木本博賢	大正10年 6月	河村三郎	大正15年 6月
宮田賢	大正10年12月	高津戸平三	大正15年 8月
伊藤秀雄	大正11年 1月	海老原鎮男	大正15年10月
大和田勤	大正11年 2月	秋山幸夫	大正15年11月
柴田廣	大正11年 5月	石川武重	大正15年11月
宮沢寿郎	大正11年 7月	須貝弘	大正15年11月
井坂庄一	大正11年11月	福田重穂	大正15年11月
久保寺朝二	大正11年12月	小林昭	昭和 2年 1月
福田太市	大正12年 2月	渡辺則之	昭和 2年 2月
青木忠	大正12年 3月	浅利幹雄	昭和 2年 3月
大川留秋	大正12年 9月	川崎健嗣	昭和 2年 3月
黒澤光明	大正12年10月	岡和郎	昭和 2年 4月
佐々木義雄	大正12年11月	清宮新一郎	昭和 2年 6月
柴田一	大正12年12月	中野三郎	昭和 2年 7月
須田長治	大正13年 1月	下昭次	昭和 2年 9月
高橋清	大正13年 1月	志賀好美	昭和 2年11月
石崎幸	大正13年 7月	堀口二三男	昭和 2年11月
豊澤有幸	大正13年 8月	栗原誠	昭和 2年11月
北條勤	大正13年 9月	新谷雅男	昭和 2年12月

## 会員随筆

## 私にとってゴルフとは



### 日常生活の メインメニュー

大越 健児

私のゴルフ歴は30年強になるが、従来私のゴルフに対するスタンスは「そこそこに出来れば良い」というものであった。このためプレー回数も年平均10回程度であった。

平成8年、日立シニア会に入れて戴き、足繁く大みかゴルフクラブに通うようになり、年間プレー回数もぐんと多くなって、最近では年40回近く行なっている。プレー回数が多くなるに従い、成績も次第に改善されたのは嬉しい。現在ではゴルフが健康維持の最大の方策であり、日常生活の主要なメニューになっている。



### シニアゴルフ 30周年を祝う

黒澤 光明

私にとってゴルフとは健康道場であり職場以来の知己との交遊の喜びを享受する楽園。

昭和62年に故樋熊常雄氏の紹介でHSG入会お陰様で80歳迄のプレー目標を達成、猶85歳を新目標として挑戦中であります。

又ゴルフ仲間へのご恩返しを込めて日立市老人会連合ゴルフ会や成沢町民親睦ゴルフ会を立ち上げたこと、二人の子供に会員権を贈与

し倶楽部ライフの喜びを引き継いだこと等は自分史の特筆事項。

今後もマナーを第一に周囲の親切に甘えず、感謝の念を持ってゴルフ人生を楽しみたいと考えております。



### 子供に教えられた 米国ビジネス

久保 英章

40年近く前、NYU留学時代よくゴルフに出掛けた。今年のUSオープンのベスパージでもプレーした。その近くのコースの谷越えショート、ボクの球は崖下に落ちたがOBではない。下に行ってみると小さな男の子が佇んでいる。ボール来なかったかいと聞くと「ボク知ってるヨ」どこだとボク「50\$だよ」エッと絶句するも、クォーターにマケさせ交渉成立。おもむろに坊や足をあげるとボールが現れた。子供に教えられた米国ビジネスの一端でした。



### 私にとって ゴルフとは……

澁口 七郎

小生のゴルフ歴は満40年にもなってしまった。これまで続けられたのは「好きだから」の一言に尽きる。始めた頃は「投資」、4、50年



代は「回収」、最近は「チャラ」で楽しんでいる。その間得たものは「人間関係と協調性」の醸成だったかもしれない。お陰でサンデー毎日の昨今も、友人・知人・各種老人会（サークル）に参画することで健康管理をしている。これからも100を切るゴルフを続け、健康で楽しんでいる諸先輩と同様「継続は金（力）」を積み重ね、正に「1/Xカーブ」の広範を「双曲線」に持ってゆきたいと願っている。



### ゴルフは これからも友達

内藤 凱夫

30年を超えてゴルフを友として来たのは「①束縛が余りなく、自由度が大きい。②ミラクルショットによる成功体験がある。③一人でも、皆でも出来、年齢、性別、天候等に左右されない。④適性なハンディキャップにより同レベルでプレイ出来る。⑤プレイ結果や審判は自己責任で、他人の介入が少ない。」等が考えられます。

ゴルフに対する信念として「早くプレイする」「あるがままの状態プレイする」を心掛けています。マナーやメンタル面を鍛えつつ、いつまでもゴルフを友として付き合いたいと考えています。



### 心の友と 個性豊かなゴルフを

綿引 邦彦

大みかは常に変わらぬ松の緑、落ち着いたたまたまのコースに身をゆだねるのは正に至福の一日。

伝統ある日立シニア会に入会させていただきましたがクラブを握ったのは昔でも、実はビギナー同然で目下真剣に取り組み一喜一憂の最中でありませう。

体力の維持、集中力の鍛練そして芝目の正確なよみをテーマとして自らに課し同伴競技者を師として（反面も）自彊を期しております。

心の友と自分に合致した個性豊かなゴルフで充実した日々をと念じております。

## 大みかゴルフクラブ名物男

題名に相応しい人と言ったら、故人見支配人と故田口元日研所長の名前が浮かんでくるが、人見さんの右に出る人はいないだろう。

人見さんに文句を言われ、彼を恨んだ人もいたようだ。注意されるのは、エチケットやルールを守らぬためだから、当然ではあるが、頭越しに怒鳴られるとつい頭にくる。人見さんを恨んで大みかゴルフ場に行かなくなった人もいるようだが、自業自得というもの。

現在の大みかコースは立派な松でセパレートされているが、最初の頃はクラブハウス周辺に木があるだけで、コース間には殆んど木がなかった。偶々日研大みか本館の建設が決まり、その機会に敷地内にあった小松をコースに移植したのが人見さんである。

小松の数は大変なものであったが、人見さんの陣頭指揮の下、コース従業員だけでこの作業をやり遂げた。今コースを廻り、松が大きく育っているのを見るにつけ、人見さんの苦勞を忍び、感慨無量である。（一木記）



人見 善氏



## 私のゴルフ こと始め

小林 昭

昭和44年大みか新工場に移る私への餞別袋には「ゴルフ用具資金として」と書かれていた。

翌日、派手だと云って溢る私に、ツートンカラーの靴、赤いシャツ、ブルーのズボンとハーフセット等一式が充てがわれてしまった。一向にゴルフに見向こうともしない私を見兼ねて、渉外の仕事もあるのだからとの配慮をしてくれたのだ。

2カ月半後の11月6日、市内大手企業、市、新聞記者も入る懇親ゴルフが大洗であった。初コースはなんとグロス145。或る記者は、「筆下ろしに、いきなり大洗とは相当なもんですね」と云う。その時私は、その意味を判らなかつた。以後、「大叩きの小林さん」で知られてしまった。

爾来、私にとって、交友と健康維持のキーのひとつはゴルフだった。

きんでいた。その正確で力強いショットは今まで見たことがない感動的なものだった。プロの真剣さにつられ半ば走りながらのあつという間のラウンドだったが、今では懐かしい貴重な体験だった。



## 面(能面)打ち・ 球(ゴルフ)打ちを楽しむ

三好 文之

最近同窓会などの近況欄に「いつも乍ら面打ち・球打ちを楽しんでいます…」と書くようになった。面打ちは数年前に、静を求め面打師に師事、徹底した教えを受けた。動なるゴルフは三十数年前に始めた自己流である。面打師は自己流でやると、必ず初めからやり直しを、習熟度が増すと少しは許される徹底して基本を叩き込まれ、今これが心技面で生きている。ゴルフはコースでのボール叩きに終始していた。最近練習場で指導を受けても悪い癖が抜けず苦勞している。静の面打ちと動のゴルフは、私の心身のリズムとして車の両輪となっている。



## 一流プロの キャディ体験

幸田 智一

時は昭和27年の夏(小生中学二年)それは名門『那須ゴルフ場』で三日間のキャディをした最終日のことだった。その日一流プロが来ているとの噂があったが、まさか自分が百人ものキャディを差し置いて柵網プロのキャディに選ばれるなんて!!一瞬我が耳を疑った。衆目を集めた四サムのスタートだったが、さすがメジャータイトル保持者の貫禄で柵網プロが一人抜



## 楽しいゴルフを めざして

鷹野 重威

ゴルフを始めたのは、米国へ留学していた時で、プロショップのおやじの手ほどきで、仲間の先生方と週末に、広々としたのどかなコーネル大学のゴルフコースで伸び伸びとプレーを楽しみました。帰国後日立に入社し、暫くは機会に恵まれませんでした。大みかの会員に入れて頂き、諸先輩方とプレーする毎に、日本の風習やマナーを教わったような気がします。若い

頃に一所懸命練習しなかったのが悔まれますが、趣味と実益（体力維持とストレス解消）を兼ねて、これからもプレーを楽しみたいと思っている今日此頃です。



### ゴルフは道場

山田 和夫

シニア会三十周年おめでとうございます。私がゴルフを始めたのは約三十年前、ゴルフ好きの上司に誘われたのがきっかけ、以来私の唯一のスポーツとして続けている。50才台には一旦上達したかに見えたが最近は一ギナー並、再起を夢見て努力中です。シニア会に入会して四年、優れた先輩、友人とプレーしその真摯な態度に接し学ぶところ大です。私の欠点は「肩に力が入りすぎ」「基礎体力不足」まずこれらの克服に心掛けたい。私にとってゴルフは最も楽しい事の一つであると共に大変難しく身心鍛練の場でもあります。



### 大甕コースでの記録と夢

岡田 定五

1971年12月に大甕コースで初めてプレーしてから、現在まで約300回を数える。私は、このコースが大好きで競技会や練習ラウンドで大変お世話になった。当初はよく2ラウンドしたもので、その甲斐あって、1974年に3番ホールでホールインワンを、1995年にクラチャンに輝くことが出来た。これまでのベストスコアは75であり、今後も更に精進し70歳代にはエージシュートを達成したい。私の好きなゴルフ

金言は「ゴルファーの最も崇高な目的は、人を驚かすような素晴らしいショットではなく、失敗を一つ一つ着実に減らしていくこと」である。



### 私にとってのゴルフとは

渡邊 則之

今のわたしにとってのゴルフとは、もはや「競技」ではなく、「興（たのしみ）、戯（あそび）」となった。

不惑を過ぎてから始めたゴルフ。三十数年のデータは、パソコンで一覧できるが、体力も衰え、技も退化の一途をたどるここ数年の凋落振りは歴然としている。

スコアは別として、プレーできるのは、年寄りの健康のバロメーターと心得たい。

ゴルフが続いているのは、何と言っても、誘ってくれる仲間がいたお陰である。

技を競う気力があつた頃の思い出になる数々のカップは、今や飾り棚から居を変え、納戸の奥で埃を被っている。

### カラスが鳴かない日はあっても ゴルフだけは欠かしません

大みかコース年間80回以上ラウンドしているみなさんを紹介します。せめてこの半分でもがんばりませんか。

結 城 正 康 さん  
杉 江 俊 夫 さん  
三 好 幹 人 さん  
伊 藤 秀 雄 さん  
豊 沢 有 幸 さん



## ゴルフは 健康維持の良薬

金澤 義久

ゴルフ歴30年になりますが、真面目に取り組んだのは、日立シニア会入会后です。以前は「お付き合い程度のゴルフができれば良い」とし、基礎体力作りもせず、一夜づけ練習で1R（ラウンド）すると足がつかりました。

体力再生を歩くことから始めました。半年が過ぎた頃からドライバーの飛距離が30ヤード程伸びました。シニア会入会の年35Rし、平均スコア105が、5年目の今年は32Rし、平均スコア96と少々腕をあげました。

加齢によりスコアも飛距離も落ちるでしょうが、私にとってゴルフは今後とも健康維持の良薬となるでしょう。



## ゴルフ交遊録

清水 貞一

ゴルフを始めて35年になりました。ゴルフの良い点はエチケットの遵守と交友の深さ・広さでしょうか。小平さんが社員に勧奨した理由も頷かれます。現在、色々なゴルフ会に参加していますが、その中で高校の同年会が年々熱心です。60才を過ぎて有志が始め、次第に輪が広がりました。都立高校のため会員は殆ど東京、神奈川の在住者です。年2回のコンペは神奈川のコースが多いのですが、最近、茨城で2回（日立ゴルフと大洗ゴルフ）開催し、皆さんに喜ばれました。戦後の混乱期に高校生活を共にした同年生は、全員同年令。歩んだ人生も色々ですが、集れば昔話に花が咲き、お互いの健康を

確認し合います。ゴルフで旧交を温めましょう。



## チャレンジ すべきもの

大島 俊彦

“私にとってゴルフとは、チャレンジすべきもの”

私がゴルフを始めたのは、昭和49年で、先輩に大みかコースに連れて行っていただきました。4番ホールのスタートで大シャンクし、右のネットに救われたのを良く覚えています。その後、大みかコースで、マナーをはじめ、ゴルフの全てを教えていただきました。紳士のたしなみとして素晴らしいスポーツで、スコアメイクのためには、不断のトレーニングと克己心、平常心、判断力、体力を要することが良くわかり、その後の仕事の上でも、接客業?にも、大変役立ちました。今後は、何歳までやれるか、挑戦して見たいと思っています。



## ゴルフは 友情の掛け橋

戸島 均

昨年の夏、中学の同級生四人で郷里秋田の男鹿GCでゴルフをやる機会を得た。

中学卒業後半世紀の五十周年記念同期会の前日である。

ゴルフ場は男鹿半島の海拔55mの全山芝生で覆われた寒風山の中腹にあり、小学生の時一緒によく登った見晴らしの良い思い出深い場所にある。

集まったのは、倉敷市、横浜市、地元男鹿市そして茨城の、卒業後離ればなれの四人で、一緒にプレーするのは全く初めてである。

四人は直ぐ昔の中学生にかえり、楽しく放談、プレーし、久し振りの友情を確かめ合った。

現在、日立シニア会をはじめ数多くのゴルフ仲間<sup>の</sup>の会があるが、何れも楽しい交友の場である。



## 仲人役とゴルフ

小沼 栄

私は、昭和46年の春頃から大みかゴルフ場で先輩から基本とマナーを教えてもらってからゴルフを始めました。

当時は部長杯とか、課長杯の名目でゴルフコンペが行われていた。その頃私が結婚の頼まれ仲人役を引き受けた連中から『小沼杯』を設けてゴルフコンペをやろうと相談を持ちかけられたので、結構なことと考え『小沼杯』と名打ったコンペを原則として年に4回開催することを申し合せて始めました。常時5組程度のゴルフコンペでしたが、気心の合った連中なので楽しいゴルフを続けることが出来ました。26回を以って終わりました。この間に私も含めて3名のホールインワン達成が出ており、収穫の多かったゴルフコンペでした。



## ゴルフの魅力

綾部 平八郎

私は緑の芝生を踏みしめて歩く感触が大好きである。広い芝生、松林など、自然に包まれたゴルフコースの中を歩いていると、何となく楽しくなる。そして他のスポーツにない魅力をゴルフに感じている。

私が大みかゴルフ場に足繁く通える様になっ

たのはシニア会のお陰<sup>かげ</sup>である。月に数回、年間六十回を上廻ることもあった。其の割には腕前の方はパツとしない。ハンデのお陰で一度だけ優勝させて貰ったことがあるが、後が続かない。今は専ら健康維持の為のゴルフと割り切って楽しくゴルフを続けている。



## 5番ホールでイーグル

青木 忠

大みか5番は砲台グリーンで難ホールである。ここでイーグルをとった感激はいつまでも忘れられない思い出である。平成9年2月24日。同伴者はBG常連の二平氏と黒沢秀氏。

第1R、第2Rともティショットがよく飛んだ。会報でも教えてある攻略法「第二打は直接グリーンを狙うな」を第1Rは守った。第2R、二平氏にそそのかされ無謀と知りつつ第二打を直接狙うことにし6番アイアンでフルショット。球は真ぐピンに向ってナイスオン。そしてカップインした次第。パーも難しいのにイーグルとは、まぐれとは云えうれしい一打でした。



## ゴルフの面白さはなぜ欠点なの？

橋本 宏

『ゴルフの唯一の欠点は面白すぎることだ』との名言がある。子供の頃から野球、テニス、卓球などのスポーツを楽しんできたが、35才でゴルフを始めてからは、他のスポーツは見向きもしなくなった。猛暑、厳寒、風雨もなんのその、いそいそと出かけるのもこの面白さ故である。現役時代の厳しい仕事に耐えてこられたのも、

ゴルフで仕事を忘れ、ストレスを発散できたためと思っている。ただこれまで続けてこれたのは、家計をやりくりしながら心良くコースに送り出してくれた女房のお陰と心から感謝している。



### 大甕クラブでの 出会い

佐々木 六漏

私がゴルフを始めたのは、30年前で日立シニア会の歩みと同じです。休日と言えど何処かのゴルフ場へ出かけては、早朝から日の落ちるまでプレイしたものです。従ってマナーもエチケットも念頭になく、全くの無知でした。それが一変したのは、大甕クラブの人見さんとの出会いでした。コンペに出場したとき、度肝を抜かれました。ティー・グラウンドとその付近、フェアウェイ、バンカーやグリーン上等あらゆる所で、ハンドマイクからの叱責が飛んで来たからです。今思うと冷や汗ものです。「鉄は熱い内に打て」と言います。その教えが今に生きています。



### スイングへの こだわり

小野寺 敬

私のゴルフは、35才からで、大甕の五年間は、休みともなれば朝まだきから夕暮れまで、我流スイングで打ちまくったものです。

東京転勤後の22年間は、本社の悪友連に徹底的に鳴られました。反面、ゴルフの楽しさを満喫・充実の時代だったと思います。何時しか青木流ベタ足打法が、身についていたのは幸いでした。

大甕に戻って七年になります。田原流スイングとの出会いが、私のゴルフを大きく変え、新しい挑戦を可能にしたと喜んでます。

とまれ、我が良きパートナーよ、有難う。

我がゴルフ人生に悔いなし。



### ホールインワン記録

#### 三度目のイーグル

中野 三郎

ゴルフを始めて35年になるが、イーグルは今回で3度目になる。1回目は昭和40年代後半日立4番ホール。第1打を右の林に打ち込み、第2打はなんとか前が開いており、脱出だけを考えて打ったがボールがカップインしたもの。2回目は昭和56年白帆CC6番(162m)打ち上げのホール。ピンフラグは見たがグリーン面は見えない。ショットはグリーンを捕えたと見たものがカップインしていた。2回ともカップインを人が見ていなく、ボールが勝手にカップインしていたのだ。

今回平成12年7月6日は2ヶ月ぶりのゴルフで、前の5ホール迄まともなショットはなかったが、ここ3番ではクラブが気持ちよく振りぬけ、グリーンを捕えたと考えた。前の組からの声でボールが押されて、グリーン上を右に軽く弧を画いてカップインした。

3度目で初めて自分の眼で確認し、しかも、人前でカップインをすることが出来た。この喜びと共に、私たちのパーティーのこのホールのスコアが1,2,3,4と並んだことの珍しさも合わせ喜びたい。20世紀の終わりの年をかざり、また偶然の起こることを期待してゴルフを楽しみたい。



## ゴルフ人生 三つの夢

安藤 捷治

ゴルフを始めて30年近くになる。若い頃は、如何に遠くへ飛ばすかに夢中になり、OBを連発したものである。最近では飛距離も落ちてきた。何んとかカバーしようと新兵器を導入しても一時しのぎにすぎずしばらくたつと、又元の飛距離に戻ってしまう。今では健康維持の手段としてゴルフを楽しんでいる。とはいうものの次の三つの夢をいただいている。一、八十才までプレーすること。二、三度目のホールインワンの達成。三、エージシュートの達成。やはりエージシュートが夢の中の夢かな……



## 私のゴルフの歩み

石田 康彦

私のゴルフは、大みかコースで学んだゴルフと言えると思う。1964年の入社後、年に2～3回職場コンペに参加の程度で、特に練習もせず、110～130のスコアだった。転機は1985年4月にOGCに入会し、HDCCP36を登録した時に訪れた。50ヤード以内の寄せの練習だけを入念にやって2ヶ月後のD級競技会に参加し、18アンダーの90のスコアで準優勝。HDCCP18と当時のA級へ三段級特進した。これ以降HDCCPに相応したゴルフにしようとして練習場にも通った。順次HDCCPも向上して、1993年にHDCCP7を得た。



## 有難たや おおみかコース

酒井 功一

おおみかコースはデビュー以来、今もホームコースであり、思い出多いコースである。各ホールの景観がビギナーの頃と随分違って見えるのは、少しは腕も上った結果と自画自讃している。職場の先輩と出勤前の早朝ゴルフと洒落れ込んだが、ボールにまともに当たらず3ホール目で切り上げ、始業のサイレンを聞きながら会瀬の坂を走ったのも懐かしい思い出である。名物支配人、人見さんには種々教えていただいた。お陰様で、その後のゴルフ人生でマナーで恥をかいた事は全く無い。シニアになった今、コースに来る若い人達にマナーを教えるのも役割かと思う此頃である。

大みかゴルフコース用

## マナー・エチケット集 (付 主要ルール)



日立シニア会  
平成9年5月

大みかゴルフコース用  
マナー・エチケット集発行

平成9年5月 エチケット委員会



## やめられないゴルフ

河村 孝生

こんなこともあるんですね。

平成14年8月5日シニア会メンバーの山内益正氏と安藤捷治氏とで大みかGC本グリーンでプレーをした時に75のスコアが出た。本人も驚き、振返るとこれは良きパートナーとのプレーで自分なりの心技体が18ホールの最後まで維持出来た為であろうと思っている。

ゴルフは奥が深く、難しいが楽しい。

今後も健康管理と仲間とのグリーン上での楽しい会話に喜びを見出し、ベストプレーにチャレンジしていきたいと思っている。



## ゴルフ三十九年の歩み

中野 三郎

私のゴルフの歩みを記録を頼りに振り返ってみます。初ラウンドは昭和38年9月22日土浦国際Gで因みにスコアは58、58の116でした。以来茨城県44のコースを中心に北海道1、福島15、栃木10、千葉5、東京4、静岡9その他5の国内93とカナダ豪州国外5の98コースで今年の8月10日まで1042.5Rを回っています。

腕のほうは昭和47年6月Hnd19を大洗Gで認めていただき、昭和53年1月Hnd13まで行きましたが現在は気力、体力共に落ちHnd20となっています。若く元気な時は1日1.5Rが普通で空いている日は2R回っていました。(当時は県北にコースが無くいわき、土浦地区に行った)。過去は過去として、今は現状での最善を尽くしてパートナーに迷惑を掛けまい心掛け、健康で楽しいゴルフを長く続けたいと願っています。

### ホールインワン記録

#### あの時の一打

村尾 勝衛

平成12.6.1は、初めての夢の一打を達成できた我がゴルフ歴でのスペシャルデーでした。例えば20年ほど前に、青木プロがアメリカツアー初勝利した、あのハワイアンオープンでの第3打が直接カップインしたときに比べれば、ほんの些細な出来事に過ぎませんが、私的には同じくらいの感動だったのです。常に気持ちでは「あの時の一打」のスウィングをイメージしてプレーに臨んでいます。これからも未永い日立シニア会の発展と、私自身も参加できることを願っています。

### 歴代ホールインワン名鑑

(日立シニア会競技会)

第1号 故前田 繁 氏  
H2 (月日不確)

第2号 村尾 勝衛 氏  
H12.6.1 第160回競技会  
3番ホール・サブグリーン

第3号 中野 三郎 氏  
H12.7.6 第161回競技会  
3番ホール・本グリーン

第4号 ?





## ゴルフ道場 “大みか”への想い

久保 禎宏

昭和44年に大みかゴルフ同好会の会員になり、先輩メンバーに先ずエチケット・ルールの勉強を指導され、競技会での実践にも励み、格調高いクラブ・ライフの良さを味いました。

その後大洗ゴルフ倶楽部のメンバーにもなり、奇しくも井上誠一氏設計の二つのOGCで“ゴルフ道場”の何たるかを、苦楽併せて味わうことができました。

今後、伝統輝かしい日立シニア会で、役員・委員の方々やコース管理の皆さんに感謝しつつ、健康で明るいプレーを楽しみたいと思います。



## ゴルフは自分の 写し絵のよう！

壁谷 宗春

運動神経が鈍い私が、ゴルフを始めたのは、上司からの所謂業務命令でした。そして、教えて戴いたのはスイングではなくマナーでした。それが総ての行動、心構えに通じ、お陰で大きな恥をかかずに過ぎてこれました。

しかし、現役時代のショット、プレイは業務の性質と自分の性格からか、安全第一、尺とり蟲で、アンシャーププライでした。

ところが、定年後は枠から外れた為か、思い切りよく振る様になり、自分なりのドライビングショットの醍醐味を、散發ですが、あじわいほくそ笑んでいる此頃です。さて、次のプレイでは、醍醐味をあじわえるやら！気懸り。



## 週一ゴルフ

豊澤 有幸

小生がメンバーになった1979年に当時のOGC、現在の日立シニア会のコンペに初めて参加しましたが何んの風の吹き廻しかアンダーで廻り優勝との事でした。初参加者は一段格下との事で準優勝になり、トロフィーを貰い今も保管してます。小生宅は森山でゴルフ場の近くにあり一人ではプレー出来ません。幸いゴルフの上手な結城大先輩とプレーする約束をして車で小生宅に往復して貰い感謝しております。当初は週二回、現在は週一回です。プレーの度に電線の仲間には必ず会ってます。私共は二人組なので希望の方には自由に入って貰いプレーします。お陰で顔が広くなりました。これからも頑張ります。



## 宇宙とゴルフ

津田 幸郎

先日TVで「十数年後、地球に隕石衝突。その規模は恐竜絶滅時に匹敵」との報道。人類滅亡だ。アリ金全部はたいて遊びまくろう…と考えたがNASA発表で「その心配ナシ」との事。又節約生活に戻った。

停年後、地球、惑星物理学に興味を覚え関連の本を読んだ。宇宙誕生150億年前、地球誕生46億年前、生命誕生40億年前。古生代～新生代で恐竜絶滅が6500万年前、人類最古の化石440万年前、現人類出現30万年前、文明発生1万年前…人生80年の何と小さいことか。一方50cmのバーディーパットの失敗、ナイスシ

ショット後のシャンクでダボ。これ又何と小さいことか…でも悔しい。悔しいから面白い。宇宙に於ける位置付はともかく、今後も大いにゴルフを楽しみたい。

以上



## 生活の一部に

初谷 荘一

止まっているボールを大きな耳搔きで打っては、人に道具を持たせてボールの落ちた処まで歩いて行き又ボールを打つ、金持ちや老人の遊びだなんて嘗っては漫才のネタに使われたが、高度成長でゴルフ人口も増加し、好むと好まざるとにかかわらず私もその一人に数えられるようになった。

大みかで先輩のマナー教育を受け、一番ティーにスタート順をとるためのボールが常に20個以上も並んだことを思い出す。

今では生活の一部に組み込まれた半分は義務的に毎日プレーさせて貰い、仲良しクラブと自称し、ショットの反省に、世間話に花を咲かせ昼時の生ビールに生甲斐を感じている。



## 良き先輩に 恵まれて

吉岡 正幸

シニア会で、平日ゴルフを楽しんでいます、ゴルフを始めた頃の出来事が思い出されます。3番ホールで、うまくワンオンした時のことです。周りは経験豊かな先輩ばかり、緊張のあまり、拍手にも、頭の中は真っ白、ただぼんやり立っていました。その時、向こうで見ていたN

さんは、帽子を取ってお辞儀しなかった私ではなく、“新人を指導するお前が悪いのだ”と同伴者のSさんを叱り、Sさんはそうだなと、率直に私に代わって謝ってくれました。

良き先輩や同伴者の方に恵まれたおかげで、お互いに気持ちよくプレイするための基本的なことを幾つも学びました。今後も大褒の良き伝統として残されているマナーを大切にし、より楽しいゴルフを続けたいと思っています。



## ハンディキャップ通知と 会社の辞令

野澤 猛

日立シニア会30年、誠に御出度ございます。現在シニア会の私のハンディキャップは28です。ハンディキャップを一つでも上げたいと励んでいた頃「今般貴殿の当倶楽部のハンディキャップを（19）より（15）に変更しましたからお知らせ致します」というはがきを、ゴルフクラブの委員長からいただくのは、会社の辞令より有難いといっていたことを思い出します。ところが現在は、新年度の第一回の競技会のときいただく組合せ表に記入されているハンディキャップが一つでも多いことを望んでいる。之は会社の辞令がなくなったこととは無関係で、低下した体力、筋力に応じて楽しみたいと願うからである。





## 近くて遠い国の ゴルフ

近藤 晋司

昨年8月31日、韓国に大災害を齎<sup>もた</sup>らした15号の強風下、久し振りに韓国のとあるゴルフ場でプレイした。体もボールもゆらゆら、風の息をうかがいながらのプレイだった。プレイ費は今でも結構高いが、コース、人など随所にこの国の雰囲気を楽しんでいた。昔、一般韓国人のゴルフ感は、楽しむ為のものが基本だった。日本人にはでたらめと映り、“一緒にプレイしたくない”との極論もあった。私は大褒<sup>た</sup>ルールを続けたが、同伴韓国人には窮屈<sup>きうくつ</sup>だった由。韓方式が対ストレスには良いのかなとも変節<sup>へんせつ</sup>しつつ考える昨今です。



## ゴルフを始めた頃

清宮 新一郎

私のゴルフ歴36年の原点はおおみかゴルフ場だと思っています。入会を勧めてくれた先輩と、一緒に飽きずに付き合う良い仲間<sup>とも</sup>に恵まれてすっかりおおみか通いにはまりました。

ある日のこと、その仲間の一人に「君のクラブは珍しいね」と言われました。言われてみるとウッドクラブは葡萄色で重さも軽めでした。小柄で60歳過ぎてゴルフを始めた父から貰ったそれは、米国の女性用中古品でヘッドにはマリリン・スミスとありました。後に有名女子プロ選手と知りました。

日の出から日暮れまでおおみかゴルフをまわったことが懐かしく思い出されます。



## 追憶 (ホールインワン)

大内 政男

今から25年前の1977年5月3日日立ゴルフクラブ選手権予選の15番ホールでした。オンの合図、ホールインワンの喚声<sup>わんせい</sup>や拍手、同伴者やキャディさんから祝福の言葉を戴いたときは、表現し難い複雑な心境になりました。

この感激のもと、第2フライトでしたが無事決勝進出が出来ました。当時ホールインワン保険はなく、ゴルフ誌のホールインワン賞企画に応募したらアサヒゴルフ第147回オメガ賞(応募者123名)1等賞に当選した賞品のオメガクロノメーターを、更にアサヒゴルフ誌10月号に写真が掲載されたことが私のゴルフ人生における自慢、記念のひとつです。



## 私にとって ゴルフとは、魔物である

渡部 正義

日立シニア発足30年おめでとうございます。

私が全く興味のないゴルフを始めたのは、厄年の時に膝を傷めたのがきっかけである。

ゴルフを始めて、その魅力と魔力の虜<sup>こぼ</sup>になってすでに24年になってしまった。

来年4月頃に一千ラウンドの大台に達する予定で、プレーしたコースの数は51となった。

健康と何よりもゴルフ仲間<sup>とも</sup>に恵まれた結果、達成できた記録であり、ご一緒願った方々に感謝申し上げたい。

今後も、日立シニア会の一員としての誇り<sup>こほり</sup>をもち、ゴルフの魔力の虜<sup>こぼ</sup>であり続け、ゴルフ仲間と共に、ラウンド数を重ねたいと考えている。



## 私の健康ゴルフ

菅谷 恒朗

私が、日立シニア会に入会して、7年が過ぎた。この間、大みかゴルフコースでは、大凡240回のプレーをした記録がある。

健康ゴルフで仲間との会話、適度の緊張感と疲労感などに浴している。

大みかコースには週一度のプレーを目標にTさん、Sさん、Hさんに健康ゴルフ仲間を協力を願っている。

6ホールで30打未満、18ホールで90打未満が毎回の『私の価値ある目標』で、これ以上の結果だと残念に思い、次回に夢を託す。

本ゴルフコースの創設者に感謝しつつ、楽しくプレーして、目標達成に努力し、心地よい汗を流せる、「私の健康ゴルフ」を永く続けたいものである。



## 魔の四番

堀口 二三男

ゴルフを始めたのは52才、足腰が固くなったからのためなかなか上達しない。ハンディは始めた年令の半分になればよいといわれるがそれにはなんとか到達できた。しかし最近は足踏み状態で迷いのゴルフである。

プロでも相性の悪いホールがあるとか、小生にとっては大みかの四番がそれ、池に打ち込んでしまうことがしばしば、まるで河童が小生のボールを手招きしておるようである。

アイアンで刻めと教わり実行するも、シャンクしてこれまた池ポチャ、うんざりする。下手なるがゆえであろうが抜け出す方法があるだろうか。



## ゴルフで健康の維持管理

熊澤 武寿

私は、30年前35歳の時、ゴルフを始めた。一生懸命練習すれば年齢の半分のハンディになると励まされながら、しかし、無能を確認しただけでした。その為、ゴルフに対する考えをボケ防止と健康の維持管理に変えた。幸いゴルフ仲間がいるので、週始めプレーし体調確認。快調なら、水、土は太極拳、金は打放し、その他は休養。不調なら読書と休養。ゴルフはイメージトレーニングを主体の攻め方、打ち方の冥想をし、なんとか脳の方で筋肉制御を熟考。とにかく元気で今後10年間ゴルフを楽しめるようにボケず、体力維持に努めたい。



## ボギーで回れるゴルフをしたい

藤田 昭

始めたのは友人よりゴルフセットを贈られたのが契機です。コースは十分練習してから出るのが常識とのアドバイス通り、練習場に通いました。齢四十四才の半ばで、先達からHDは始めた年令の半分が到達点と暗示をかけられました。当時HD22は夢のレベルで、ワンラウンド90で回る人は凄いなと思いました。爾来、20年の経験で漸く年間アベレージが90位で回れるこの頃です。問題はバラツキの大きさです。仕事の経験は役立たないようです。今年の目標はアマチュアだからボギーはOKダボを叩かないことに心掛けていますが、実現していない現状です。



## 私とゴルフ

伊藤 秀雄

私がゴルフを始めたのはS42年でした。始めたら早速「とりこ」になり土曜、日曜連チャンで「大みか」通い、6ホール最低6回はラウンドしたものでした。雨天の時は空いているからと喜んで通ったものです。そのお陰か？S55年にH.A.D.7を頂きました。顧みて「努力なくして上達なし」をゴルフを通じ特に痛感した次第です。

さて、そんな私の最近のゴルフは？努力不足か？いや年のせいだ、と言いつつ寄せとパターを頼りに何とか90台をキープすべく四苦八苦して居ります。大みか予定日には朝6時には「今日は天気がいいぞ」と、仲間よりの電話、これもゴルフのお陰と独りひそかに感謝して居る処です。



## 唯一の楽しみ

桑島 敏夫

日立シニア会の永続おめでとうございます。私は退職から6年経過、しがらみの鎖が切れて、今は心を揺さぶるのはゴルフだけです。感激や癒し、落胆や怒りもゴルフからです。自宅の庭に練習ネットを設置したり、ボールを打たずに上手になる筈の誌上レッスンやコースでの実践にも傾注して来ました。

しかし、出掛ける時は、何時もルンルンですが帰りは意気消沈が多々です。最も好きな事からストレスを受ける不合理の繰返しです。

願望過大と理解しているのがコースに出ると忘れてしまいます。反省や戒めを生かせないのがゴルフの魔性で魅力と思います。



## 孫とのゴルフに期待

宇津 威

私にはゴルフでどうにもならない口惜しい事が一つある。それは家族ゴルフが出来ない事。私は親父にゴルフを教わったが、男兄弟3人いたから良くコースに連れて行って貰った。故郷の桑名CCや、夏休みには御嶽山中腹の鈴蘭高原のコースで避暑がてら贅沢なゴルフを楽しませて貰った思い出がある。それを私も私の子供らとやりたいと思っていた。然し、何故か子供は娘二人で、二人共家内に似て運動は不得手。せめてそのハズバンドと、と思ったが、これもゴルフをやらない男性と一緒にってしまった。今は孫（七才）に期待するばかり。



## ゴルフは健康の友

曽根原 隆士

日立シニア会30周年おめでとう御座います。今後シニア会員は増えると思われ、益々の盛会を期待します。

ゴルフを始めたのが昭和47年。大甕がスタート。腕前の程は別にして、ゴルフ暦だけは30年となった。

私にとってゴルフが唯一の趣味で、今は健康の良き友となっている。大甕5番の登り坂を元気でカートを引き、90を切って再度の優勝をものにしたいと願っている。このためには体力が基本と手動式芝刈り機で芝の手入れを兼ね体力アップに励んでいるこの頃です。



## アメリカでの ゴルフ

田中 治彦

1996年から約2年半、仕事でテネシーの片田舎に赴任しました。他にやる事もないので、土日は殆どゴルフ三昧の日々を過ごしました。PGAツアーが行われる超一流のコース、大都会の近郊にある一流コースがありますが、小生の場合は殆ど田舎の2～3流コースで乗用カートで1ラウンド20ドル、プルカートで12ドル程度のコースを利用しました。半年位経った頃、町の南北にある二ヶ所のゴルフ場のメンバーになりましたが、年会費が約200ドルで後はプレーの時、カート代（乗用10ドル・プル2ドル）を支払うだけでした。朝八時頃、到着順でスタートし昼前に1ラウンドを終わらせ、昼食は家で摂り、午後女房の付き合いでナッシュビルまで買い物に出かけるのが通常でした。現地の人達は、マスターズが終わる4月中旬～6月下旬、夏休みが終わる9月～10月下旬がゴルフシーズンで夏、冬はガラガラです。その頃は1ラウンド2時間といった最速プレーをした事もありました。



## ゴルフで危険な体験

田島 増陸

健康であればゴルフは楽しい。しかし危険なことも共存している要注意。

○「雷」は特に恐ろしいもの雷通報でいち早く引揚げハウスに入ろうとした時、避雷針に落雷した瞬間、私の腕時計と腕の間から凄い火花が出て一時的にスクンでしまった以後、腕

時計をすることをやめました。

○同伴者のティーショットの時、打者の前に立つことは先に出てなくても危険が一ぱいですね、ティーショットの球が私の左眼にあたり眼鏡が割れ眼の中に入ってしまった（眼球を一切動かさないで病院に急行し難をのがれた）打者の後部にいることを守りたいものです。



## ゴルフとかけて

坊坂 明

「自分の心を耕せば、能力一杯の可能性を引き出せる自分への挑戦」と心に決めてはいるけれど、未だに時間と金を浪費し続けている愚か者である。ゴルフは、人類が発明した欲求不満を昂じさせる最も不愉快なゲームである。と書を読んだことがあるが同感である。患者の生命を託される外科手術のメス捌きは最もデリケートなタッチを要求される。そんな名外科医博士も、4パットもチョロもやる。何時になってもゴルフをやっつけることも上達しきることも出来ない。なのに何故ゴルフをやるの？「ゴルフとかけて私の人生ととく その心は、思うようにゆかない」だから面白くて止められない。正確さとパワーを調和させた「ステディーなゴルフ」を夢見て…





## ゴルフは終生の友

角田 啓輔

私がゴルフをはじめたのは昭和40年である。それ以前から上司より幾度となくゴルフをやる様勧誘されたが、「ゴルフは老人が楽しむスポーツ」と決めつけていたので断り続けた。しかし、やってみて驚いた。ゴルフとはなんと奥の深いスポーツだろう。やればやる程難しく、ゴルフはまさに自分との戦いである。

私にとって現役時代のゴルフはストレス解消の最高の良薬であり、幅広く多くの人との出会いと友好をもたらす社交場でもあった。

現在は健康のバロメーターであり、そして終生の友でもある。すっかり好きになったゴルフ。今後いつまでやれるか？判らないが、健康で動ける間は是非続けたいと思っている。

やる以上はホームコースを持つと、当時募集中の和尚塚を20万で買った。コースへはバスと電車を乗り継ぐが、キャディバッグを持つのが面映ゆかったものだ。

部課長会ゴルフでは、先輩上司から厳しくマナーを躰けられた。紳士のスポーツである以上当然の事と、むしろ快ろよかった。プレーでも審判は居ないのだから、誤魔化そうと思えば出来ない事はないが、自分の良心との斗いだ。ゴルフは、自分が紳士に値する人間か否かを見る「メジャー」とも言えるのではなかろうか？

翻って、昨今の大みかを見てみよう。打放しの打席には若干のボールとクラブが置かれていて人影はない。ベンチには打席の空くのを待っている人が居るのに。他所での練習から戻った時のための布石なのだろうが、以前には見られなかった風景だ。寒々とした気持ちになるのは筆者だけではなかろうと思うのだが。



## 私にとって ゴルフとは

斉木 虎夫

「首題」で一筆書けと言われた。今の私にとって、ゴルフは「健康と交友」以外の何物でもないが、これだけでは字数が埋らないので、テーマからは少し外れるが書き加える。

ゴルフを始めたのは課長になってから。40年前だ。「飲む、打つ、買う」の、どれも出来ないお前は、ゴルフしか交際の手段がなかろうと、半強制的お達し？だった。的を射た話だったが、当時は未だ“ゴルフは一部ブルジョア階級のもの”が世間の常識だったから、やはり抵抗感があったが、「部課長会ゴルフ」もあったし、交際にはよいと思った。



## バレーボールから ゴルフへ

田崎 健治

私は一昨年日本バレーボール協会の役員を降りてからゴルフに軸足を移した。

バレーボールはチームプレーなので、プレーヤーは自分を殺してチームの勝利に貢献する。協会の役員は日本のレベルアップとか、愛好者の拡大など「組織」として他人のために活動をする。

それにひきかえゴルフは「個」の競技なので、自分中心の考え方に徹し、自分だけが強くなることに徹する。そこには相手を思いやる心など全く必要としない。孤独に耐え、あらゆる困難を克服し技術力、精神力を向上させた結果がハ

ンディキャップとして表れる。「組織」と「個」の違いにとまどっている。



## 幻のホールインワン

山本 清

広島に転勤した昭和42年4月からゴルフを始めた。アイアンが苦手で、谷越えのショートはウッドを使っていた。忘れもしない昭和53年4月9日、広島加茂CC5番池越えのショート141Yで、ドライバーを使った。池を越えた様だがグリーン周辺には3個のボールのみ、小生のは見当たらない。池ポチャかと諦めてたら、カップの中を見ていたキャディさんが「有りましたよ!! マックス7番が」と叫んだ。まさかと思ったが間違いはない。同伴者も啞然としてボールを見、大笑いになった。キャディさん曰く「5番アイアンで打った事にしたら」同伴のお客様から今日はプライベートなので「幻のホールインワンにしたら」と云われ、保険のない当時私も即座に賛成した。今回「30年の歩み」でやっと陽の目を見ることになり、感謝申し上げます。



## ゴルフにおける 出会い

荻原 覚

クラブを初めて握ったのは、1975年頃の30才代後半ですから、そろそろ30年。これだけの年数を続けてこられたのは、競技の楽しさもさることながら、ゴルフを通して多くの方々との出会いがあるからでしょう。

シニアになってからは、勿論日立シニア会が

最大の出会いの場であり、

「飛び賞も勝負の内と拍手をうけ」と、祝福される。諸先輩との日研シニア会では、「勝敗はグリーンの周りの寄せパット」、喜寿を越えた先輩に教えられる。35回を超えて続けている材料研究部門のコンペでは、「スモークボール越えず罰金積み上り」会費が増えて表彰式が大盛大になる。大学時代の仲間とは、遠方からも相集い、「年だねと言う奴もまた同じ年」、同級生ならしょうがない。最近発足した茨城県技術士会のゴルフコンペでは

「ゴルフでは理論と実践マッチせず」ハーフのエージシュータを目指す面々もあり。

他にも、倶楽部の会員仲間との高鈴会、昔の職場仲間とのコンペなど、多くの方々との出会いを大切に、これからも楽しい健康ゴルフを続けたいと思っています。



## ゴルフは 唯一の運動

佐藤 幹夫

散歩もジョギングも殆どやらない怠者の小生でも、自分の打った球の後を追掛けていると一日で一万歩以上を歩いている。若い時に体を鍛錬しなかった非力な小生でも、ゴルフならば他の人と何とかお付き合いができる。

始めてから今年で33年にもなった。当初、先輩から練習球をダンプカー1台分(5万発位)打てば何とかなると言われて、練習はかなり熱心にやった。これまでに5、6台分は打ったと思われるが、シングルには程遠い腕前で低迷している。下手の横好きである。今後は、エージシュータを目指して横好きを続ける積りである。





## 来年こそは スコアアップを

国谷 啓一

日立シニア会も30年になるそうで、おめでとう御座居ます。私もゴルフを始めて二十数年になります。最初の頃、大みかクラブで人見さんから数々のマナーを教えられた事を懐かしく思い出されます。

若い頃は1.5ラウンドが普通で、夏は2ラウンドも苦にならなかったのが、現在は1ラウンドで十分になり、途中から高く伸びていった弾道もしとやかな弾道になっている今日この頃です。「体力維持と練習量を増やし、少しは腕前を上げる」を来年の抱負にしたいと思っておりますが、さてどうなります事やら？



## 幻の優勝

戸波 宗彦

今から20年以上昔のニューヨーク駐在員時代の出来事。当時「日立マジソン会」という日立グループのゴルフ会があった。お定まりの場所はマンハッタン郊外のパットナムGC。さて、ある時私は優勝し、HAL北村社長から優勝カップを手にしたその時、「集計が間違っている！」との声があがり、私のネットが10打少なくて計算されていたことが判明、優勝は幻と消え去った。幸いにも次の回で優勝できたので、何とか面目は維持できたが、私はその後間もなく帰国のため優勝カップは返上。次の回が丁度取切り戦だったのにそれにも参加できず、今でも苦い思い出と共に心残りとなっている。



## 健康の友・ゴルフ

正岡 功

ゴルフは41才で始めて以来26年間友としている。一向に上達しないが、今では健康維持の重要な友となっている。月一程度のゴルフであるが、毎週往復30分歩いて練習場で150球打つよう努めている。ゴルフは本当に奇跡を生む。3回目のラウンドのショートホールでミスした打ち上げ第2打が直接カップイン。いいショットとはいえなかったが9年目にホールインワンを達成した。いつも最高の場面を夢見て挑戦してしまう。結果はミスが多いが、最高のショットもあるので止められない。これからも己との勝負で楽しみ健康を維持したい。



## シニア版 ゴルフ数え唄

二平 豊治

- 一つとせ 他人は他人 俺は俺なり誇りもて  
努力の結晶 自己流フォーム
- 二つとせ 富士の高嶺か シングルは  
還暦過ぎてても 36
- 三つとせ 見たか倅よ 親父の秘技を  
OB杭に当たって ナイスオン
- 四つとせ よいフォームナイスショットでパーオン  
したが よく見りゃ旗のないグリーン
- 五つとせ 古えの習性 抜け切れず  
水兵は池に 砲兵は山に打ち
- 六つとせ 昔は飛んだと夢追い話  
出すは老化の証拠なり
- 七つとせ なんだ鉄かと なめたらあかん  
4個貯めれば 金となる
- 八つとせ 箱根八里は 馬でも越すが  
越すに越されぬ100の壁
- 九つとせ こうして こうすりゃ優勝だ  
前夜寝床のシュミレーション
- 十つとせ 父さん稼いだチョコ食べて  
母さん虫歯で糖尿病

## 大みかゴルフ場の沿革



顧問 高橋 市蔵

HSG（日立シニア会）のホーム・コースとして利用させて貰っている日立製作所の「大みかゴルフ場」は、ミニコースであるが、このコースの歴史を遡ると、1936年（昭和11年）茨城県内で最初に開場した「日立ゴルフ場」の後身ということになる。

「日立ゴルフ場は当時日本では珍しいシーサイドコースのチャンピオンシップのゴルフ場であった。現在の「大みかゴルフ場」は当時の2分の1にもみたない規模となっているがコースの雰囲気には昔の日立ゴルフ場の俤を残している。

日立シニア会の30年史を編纂するに当たって「大みかゴルフ場」の沿革の概要を記載しておく。

### 1. 「日立ゴルフ場」の開設

日立製作所の創業社長小平浪平氏は、従業員の健全娯楽と来客接待の施設として、日立地区にゴルフ場の建設を意図して、1935年（昭和10年）その用地の取得を日立工場長に指示した。日立工場では総務部用地係が用地買収の担当となって種々検討の結果、常磐線大甕駅～6号国道間の丘陵地、所謂古歌に由緒ある甕の原（久慈郡久慈町、多賀郡坂上村の地内）に194,000坪の用地を求めて、ここにゴルフ場建設の計画を樹立し、小平社長の同意を得て用地の買収に取りかかった。（全用地の買収完了は昭和14年7月）

用地買収については久慈町町長はじめ地方有志の方々の協力を受けた。

ゴルフ場の設計は那須ゴルフ場等のゴルフ場設計で有名であった井上誠一氏、クラブ・ハウスの設計は東大建築学科教授岸田日出刀氏に依頼した。

かくしてコースの一部に虫喰い部分はあったが、昭和11年秋までには18ホール、6,650ヤード、パー74のゴルフ・コースとクラブハウスが完成した。

1936年（昭和11年）10月11日、来賓300余名の参列のもとに開場式が執り行なわれた。次いで午前11時斬新なホールにおいて伊藤日鉦社長による始球式、引続いて会員の競技が行われた。

現在大みかゴルフ場に残っている「日立ゴルフ場」の航空写真は図1の如くである。コースの距離及びパーは添付の通りであった。

### 2. 戦時中のゴルフ場

ゴルフ場の開設によって、日立のゴルフ熱は一気に高まった。日立ゴルフ倶楽部のメンバーになった日立工場の部課長たちは退勤後や休日には競ってゴルフ場に駆け付け練習に励んだ。

しかし日立ゴルフ場の盛況の時期は長く続かなかった。1937年（昭和12年7月、勃発した支那



No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9		No.	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
Yards	430	480	150	380	350	170	460	360	560	3,340	Yards	400	490	360	120	490	400	160	380	510	3,310	6,650
Par	4	5	3	4	4	3	5	4	3	37	Par	4	5	4	3	5	4	3	4	5	37	74

図1 当時の大みかゴルフコース

事変は次第に中国との全面戦争へと突入した。政治・経済の全ては戦時態勢に切り換えられた。軍需工場動員法が発動され、日立製作所の生産は急増し工場の増設、従業員の増員が行われた。しかし中国大陸更に東南アジアへ侵攻の戦争は国民の間には戦捷気分であった。工場の生産増強は多忙な勤務となりゴルフを楽しむ余裕は減少したが、ゴルフを止めるという状態ではなく、暇を作っては大褒に駆け付ける者が多かった。

1939年（昭和14年）9月、ドイツ軍がポーランド進撃を開始し、第2次世界大戦が始まった。わが国の中国、東南アジアへの侵攻は、米・英・オランダの不安を増長させて日本への経済封鎖が断行された。こうした世界情勢の下にわが国は1941年（昭和16年）12月8日、米英に対して宣戦を布告し太平洋戦争に突入した。

戦争は次第に深刻となり、軍需物資を始め国民の生活必需品は枯渇した。特に食糧の不足は深刻であった。あらゆる空地が食糧生産のため畑となった。ゴルフ場の広い面積がそのまま置かれる筈はない。日立ゴルフ場も少しずつ工場従業員の食糧生産の畑に転換された。かくして1943年（昭和18年）7月、日立ゴルフ倶楽部は解散となった。ゴルフ場は勤労働員学徒と工場従業員の一部を農耕作業に転属させてた者を使用して本格的農場に造成された。

ゴルフ倶楽部の建物は「日立厚生園」と名称を改めて、来客の宿舎や会食の施設とした。旧クラブハウス前の芝生だけは、農地にせず、厚生園の庭としてそのまま残すことにした。

クラブ従業員は厚生園に従事する者以外は工場の従業員として雇用されることになった。

### 3. 戦後、旧ゴルフ場跡地の売却

1945年（昭和20年）8月15日、わが国は無条件降伏を以て戦争を終えた。以後日本は連合国総司令部（GHQ）支配下の占領時代に入った。

GHQの占領政策の中に農村の民主化という綱目があり、その具体的施策として農地改革があった。農地改革は不在地主の全所有地と在村地主の貸付地のうち平均1町歩を超える分を国が地主より強制買収して、小作人に売り渡すというものである。

旧日立ゴルフ場は戦時末期に農地となり、戦後間もなく日立工場食糧部農産課という職制のもとに本格的農業が営まれた。この様な現状は農地改革の小作農業に該当するとして政府買上の対象となった。GHQの農地改革は連合国の至上命令であったので、用地の売却を拒むことはできなかった。

たまたまこの時期に多賀町のキリスト教徒によってキリスト教会の建設とミッションスクール設立の計画が持ち上がった。この学園の設立の構想はアメリカの大学や教会の支援を受けて具体的建設へと進展した。学園は「シオン学園」という名の新制高校と短大とし、将来大学をも備えた総合学園とする構想であった。このシオン学園建設の候補地としてゴルフ場跡地が挙げた。前述の如くゴルフ場跡地は農地解放の予定地になっていたが、アメリカのキリスト教会等の後援のあるシオン学園設立推進委員の努力によって、地元農地委員会や県農地部の支持を取り付け、学校用地として使えるよう解放の対象からはずして貰った。日立製作所としても、いずれ農地解放になる土地であるから、先のわからない農地として買上げられるより、学園の用地になる方が好ましいとして、シオン学園に対して北側15町歩（45,000坪）の売却を決定した。（昭和23年5月）

斯くして旧日立ゴルフ場194,000坪のうち116,000坪は農地法による国への売却、シオン学園へ45,000坪、新制久慈中学校建設用地として15,000坪を久慈町へ売却された。日立厚生園の敷地及び前庭として日立製作所に残った土地は18,000坪となった。往時の10分の1の面積であった。

### 4. ゴルフの復活

戦後のわが国は経済復興が緒に着かず、すべての物資が窮乏し、加えて急激なインフレーションによって国民の生活は戦時中にも増して深刻であった。しかし言論、思想の抑圧から解放された国民の間からは自由・民主の新思想のもとに各種の文化活動が動き始めた。戦時中いろいろの制約によって逼塞していたスポーツもいち早く復活の兆をみせた。

1950年（昭和25年）6月に勃発した朝鮮戦争はわが国の経済復興の引金になった。米ソ対立の激化はアメリカの対日政策に大きな変化をもたらし、日本の経済復興と対日平和条約終結へ促進が図られた。

朝鮮戦争によって起った特需は産業界に活気を与えた。日立工場の生産も一気に倍増したし、戦災を受けた工場の復旧も急速に進んだ。

こうした環境の中で戦時中逼塞したゴルフの復活気運が生じて来た。これはアメリカのゴルフ情報の流入が大きく影響している。

大甕ゴルフ場復活の気運は大洗ゴルフ倶楽部の開場に寄るところが大である。大洗ゴルフ倶楽部は茨城県知事友末洋治、常陽銀行頭取亀山甚、日立製作所社長倉田主税等の有力諸氏によって地方

にもスポーツ振興のため立派なゴルフ場を開設すべきであるという提唱によって大洗海岸に本格的ゴルフ場の建設が進められた。ゴルフ場の設計は旧日立ゴルフ場を設計した井上誠一氏に依頼された。かくして茨城県では戦後初のゴルフ場が完成し1953年（昭和28年）10月に開場した。

大洗ゴルフ倶楽部の理事長には日立製作所の倉田社長が就任した。日立関係事業所には大洗ゴルフ倶楽部の法人会員、個人会員の割当があった。こうしたことから戦前ゴルフクラブを手にした人や工場の部課長の人たちのゴルフへの関心を高めた。

大甕でも昭和25年頃からクラブハウスの前庭として残った芝生に3ホールばかりのショートコースを設けてゴルフ練習に便宜を与えるようにしていた。最初は極少の人数であったが、大洗ゴルフ場開設の前後からこの練習場に来る人が増えてきた。

### 5. 大みかゴルフコース拡張のあゆみ

(1) 講和条約の発効による独立の回復、朝鮮戦争の特需による経済の復興——世の中は次第に安定してきてきた。大甕のゴルフ練習場に通う人も序々に増加してきてきた。こうなると狭い練習場では支障を来すようになり、もう少し広げたいという願望が強くなった。

会社幹部の間にも小平創業社長の意図によって開設された旧ゴルフ場は戦争によって閉塞されて終わったが、少しでも復活して小平翁の志を継承したいものという意見が起ってきた。こうした気運のもとに、日立工場では1953年（昭和28年）、クラブハウス前の5,000坪に加えて、元従業員

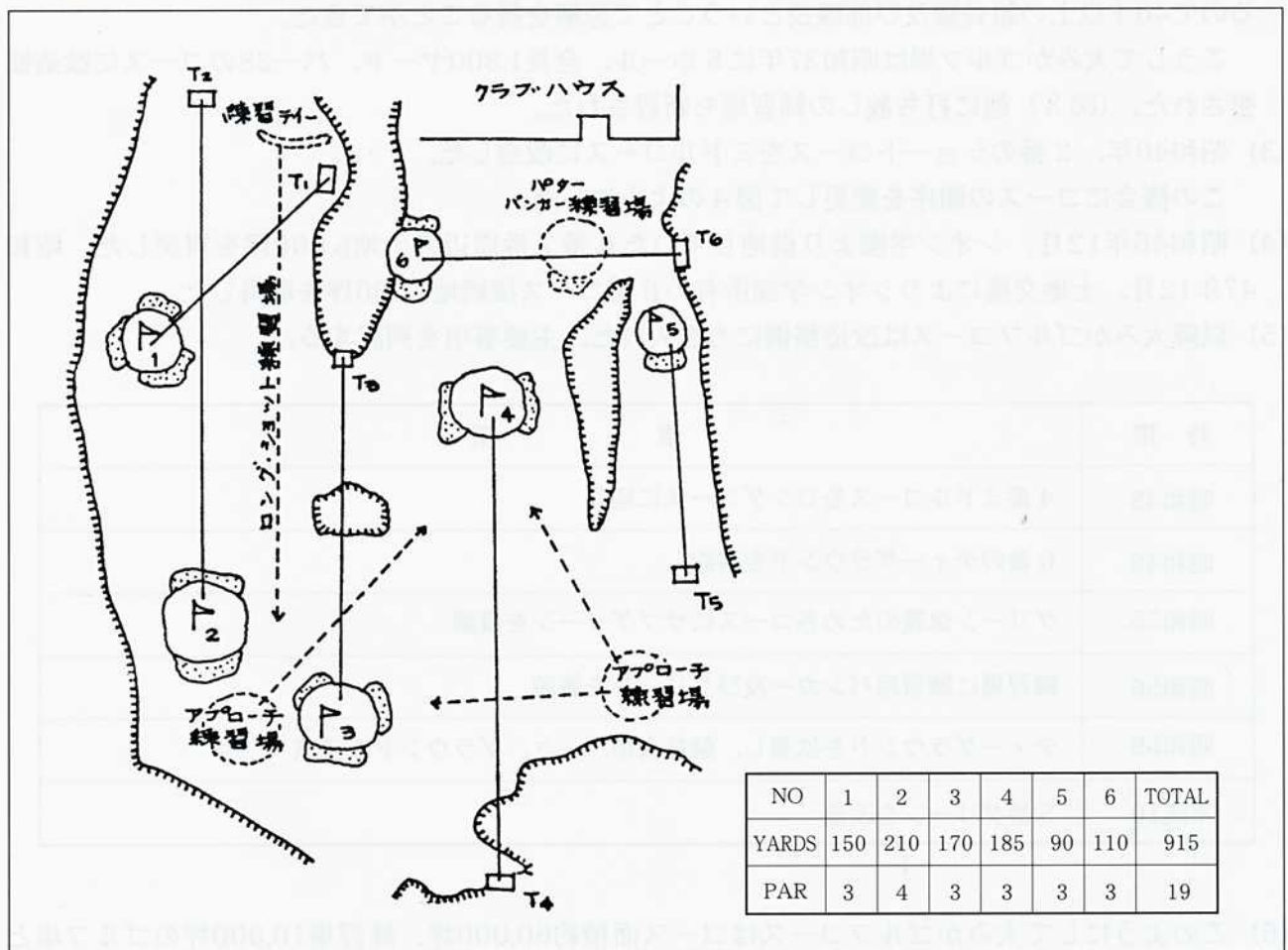


図2 大みかゴルフコース（昭和29年）

員に解放した稲荷神社前の土地1,000坪及びシオン学園に売却した土地のうちクラブハウスに近い5,000坪を無償借用して、ショートコースではあるが6ホールのゴルフ場を建設した。(図2)

このゴルフ場は大洗ゴルフ場に比べれば比較にならないミニコースであったが、日立市内より近く、手軽に利用できるゴルフ場として初心者練習場として価値を発揮した。こうしてゴルフ愛好者が増加したので1955年(昭和30年)、「大甕ゴルフ同好会」が結成された。

(2) その後約7年間は若干の改造はあったが、ほぼ図2のコースのままで推移した。しかし同好会会員の増加によって再びコース拡張の要望が高まった。

わが国のゴルフ人口は増加し、茨城県内でも所々にゴルフ場の建設が見られるようになった。日立製作所において小平創業社長の造られたコースの部分的でも復元したいという幹部の熱意もあって大みかゴルフ場の拡張が図られ、1960年(昭和35年)、戦後の農地解放により元従業員の所有地となっていた臨海道路側に面する農地67,000坪(さきに無償借地としていた稲荷神社前の1,000坪を含む)を買い戻した。

しかし昭和35年時は農地調整法により農地の転用には厳しい制約があってゴルフ場への転用は容易ではなかった。この農地転用は、日立工場総務部長の篠原廣雄氏の各方面への陳情、交渉等の多大な骨折りによって漸く許可を得ることができた。許可条件には従来部課長という一部の者のみ利用させていたゴルフ場を利用対象を全従業員に置き、保健厚生施設を造り、その中に総合運動場、テニスコート、バレーコート等を設け、残り45,000坪を緑化地としてゴルフ練習場とするというものがあった。但しゴルフ場の利用者と全従業員とすることは施設上から困難であるので40才以上の組長級及び部課長ということで諒解を得ることができた。

こうして大みかゴルフ場は昭和37年に8ホール、全長1,800ヤード、パー28のコースに改造拡張された。(図3)他に打ち放しの練習場も新設された。

(3) 昭和40年、2番のショートコースをミドルコースに改造した。

この機会にコースの順序を変更して図4のようにした。

(4) 昭和46年12月、シオン学園より借地していた6番7番周辺の土地5,000坪を買い戻した。昭和47年12月、土地交換によりシオン学園所有の6番コース接続地1,600坪を取得した。

(5) 以降大みかゴルフコースは改造整備に力を入れた。主要事項を列記する。

時 期	事 項
昭和48	4番ミドルコースをロングコースに延長
昭和48	6番のティーグラウンドを移設
昭和55	グリーン保護のため各コースにサブグリーンを設置
昭和56	練習場に練習用バンカー及びグリーンを新設
昭和59	ティーグラウンドを拡張し、競技会用バック、グラウンドを造成
平成10	5番グリーンを改造

(6) このようにして大みかゴルフコースはコース面積約60,000坪、練習場10,000坪のゴルフ場となり、日立グループの従業員およびOB並びに地域の人々のゴルフ場として活用されている。

6ホールTot. 1605Y. Par22

8ホールTot. 1800Y. Par28

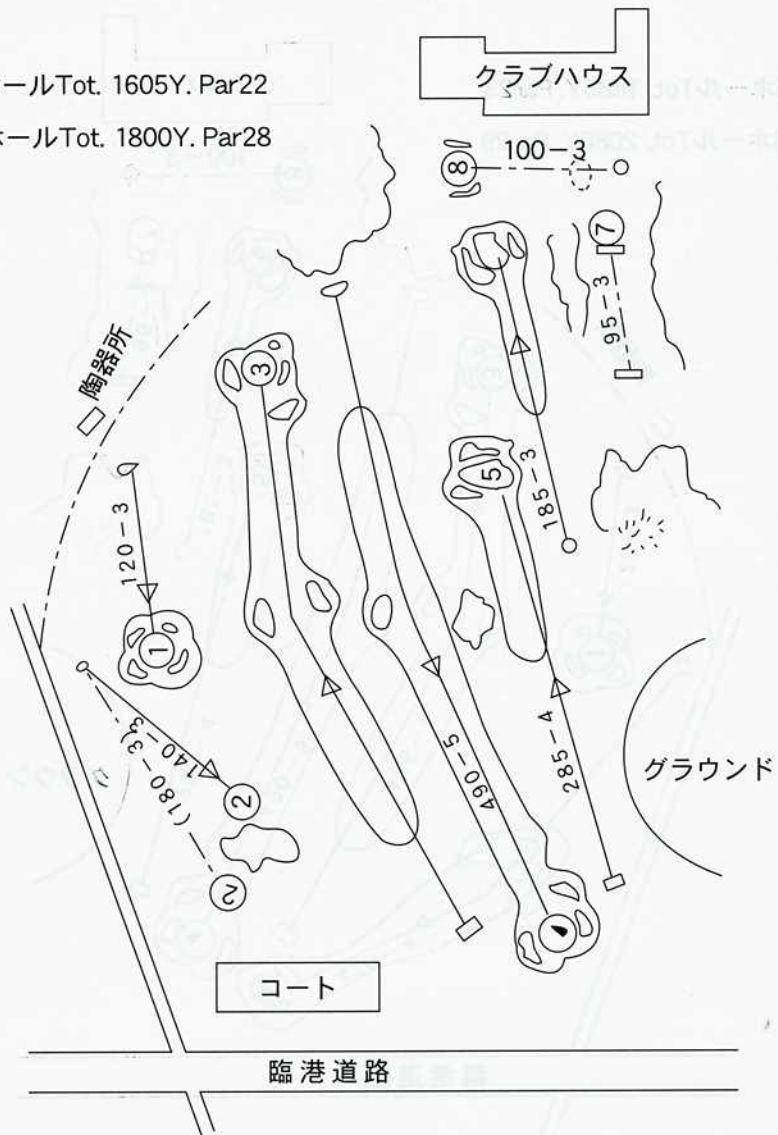


図3 改造後の大みかゴルフコース (昭和37年)

6ホールTot. 1885Y. Par23

8ホールTot. 2080Y. Par29

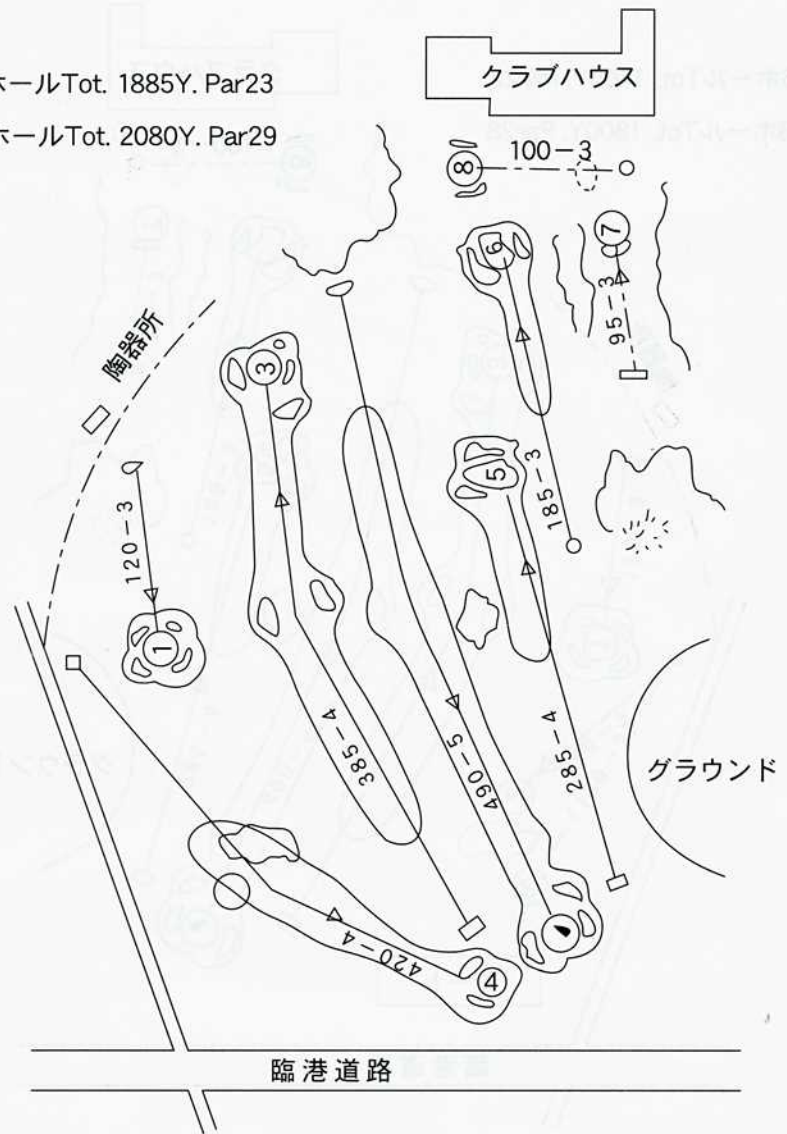
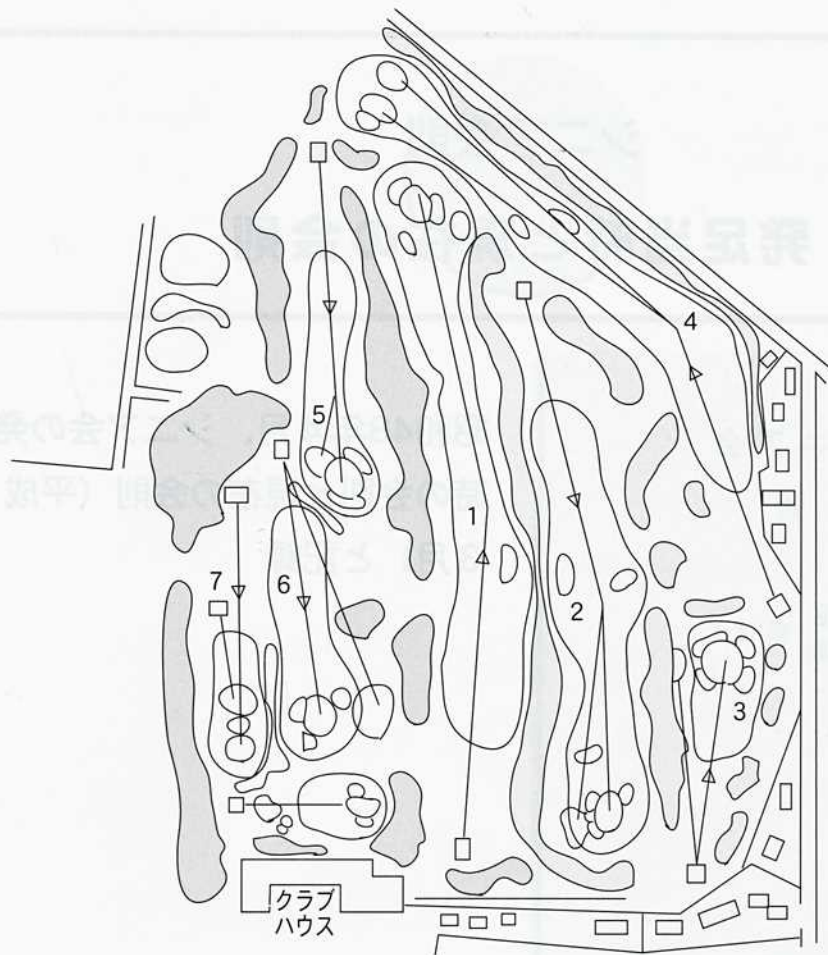


図4 コース延長後の大みかゴルフコース (昭和40年)





NO	1	2	3	4	5	6	7	8	6ホール	8ホール	3回 TOTAL
BACK	481	379	141	516	344	176	155	100	2,037	2,259	6,111
FRONT	472	376	116	504	334	166	92	95	1,968	2,155	5,904
PAR	5	4	3	5	4	3	3	3	24	30	72

図5 現在の大みかゴルフコース

### 小平さんの思い出

寺師 秀麿

昭和18年国策で閉鎖されて、同19年秋前線基地として兵舎や壕が作られ、クラブも将校宿舎となりコースは荒れるにまかせた。昭和21年戦後初めて天皇陛下をご案内、このクラブにご一泊された小平さんは、変わり果てたコースの姿に暗然とされた。戦時中2台のグライダーをコースに置いて、その練習場として保持につとめたが、内原の訓練所等からの圧力にたえず一部畑と化し、さらに終戦後学園に分割された。クラブ前4万坪の芝を残すだけとなった。時とともに小平社長の偉大な構想を思い昔を惜しむ声しきり。

移り行く時とともにゴルフ愛好者が急増し、誇るべきコースを偲びながら徐々に拡大整備され、現在では8万坪、8ホール、会員600名。姿こそ小さくなったが小平翁の心は長く残されよう。

寺師氏略歴 昭和8～昭和28・日立工場総務部員、大みかゴルフコース建設に従事。  
昭和20～昭和28・大みかクラブ支配人。

## シニア会則

# 発足当時と現在の会則

### 日立シニア会 会 則

役員名簿 添付  
会員名簿

昭和48年4月

昭和48年4月、シニア会の発足当時の会則と現在の会則（平成13年3月）と記録

### 日立シニア会発足時の会則

### 日立シニア会会則

- 第1条（名 称） 本会は日立シニア会という。
- 第2条（事務局） 本会の事務局を日立工場大みかコース事務所に置く。
- 第3条（目 的） 本会は会員の  
相互の親睦  
体位の向上  
に資することを目的とする。
- 第4条（事 業） 本会は前記の目的を達成するため次のことを行なう。  
① 毎月第1、第3の水曜日に競技  
② 年2回春秋ゴルフ競技会の開催  
ただし、会員の意向による。  
③ その他前条の目的を達成するためのもの
- 第5条（会 員） 本会には大みか同好会員で満58才以上の者、ならびに会長の認める者とする。

第6条 (入会手続)	本会に入会する者 事務局に届出する。
第7条 (役員)	① 本会の役員 顧問 若干名 (日立工場長, 功労者, 年長者) 会長 1名 幹事 若干名 を置く。 ② 役員任期 1ケ年 6月1日から翌年5月末日 ただし新たに役員に就任した者は現役員任期とする。 ③ 役員再選重任は妨げない。
第8条 (総会)	毎年5月第1水曜に定期総会を開催する。ただし必要に応じて臨時総会を開催することができる。
第9条 (幹事会)	本会の運営は幹事会が行なう。 幹事会は前条の役員を以って構成する。
第10条 (会長)	会長は総会で推薦する。 幹事は会長の推薦した者とする。
第11条 (会費)	本会の競技に要する費用は各自負担とする。ただし第4条第2節に対する費用として臨時に徴収することがある。
第12条 (改正)	この規則を改正しようとするときは会員の意向を組み総会でこれを決める。

### 役員

顧問	綿 森 力 北 山 直太郎 寺 師 英 鷹 小 林 徳太郎 関 仁
会長	柴 田 正 男
幹事	高 松 武 綿 引 恒之介 人 見 善

勤 務 先	氏 名	勤 務 先	氏 名
木 材 地 所	柴 田 正 男	日 立 電 線 商 会	宮 崎 覚
"	氏 家 寅 三	電 線 加 工	根 本 武 雄
"	高 橋 市 蔵	日 立 電 線 発 送	城 貞 行
"	関 仁	H ・ E ・ C	毛 利 銓 一
"	仁 瓶 実	"	根 本 四 郎
"	広 岡 喜 久 治	"	一 木 利 信
"	森 岡 道 一	日 立 埠 頭	篠 原 広 雄
日 和 産 業	橋 本 敦 夫	"	八 谷 重 蔵
"	橋 正 春	多 賀 産 業	高 木 関 蔵
H ・ F ・ S	小 林 次 郎	日 立 製 線	野 村 弘
"	藤 山 仁 作	日 立 病 院	川 西 和 夫
"	丸 山 常 雄	日 立 運 輸	福 田 久 雄
泉 ケ 森	綿 引 恒 之 介	日 立 工 業	北 山 直 太 郎
国 分 工 業	芳 川 重 光	日 立 環 境	佐 治 良 平
日 立 久 慈	高 松 武	H ・ S ・ K	斉 藤 隆
"	小 林 徳 太 郎	日 立 設 計	門 野 正 雄
日 協 産 業	篠 田 六 郎	"	鮎 沢 秀 夫
"	小 塚 正	セ ン タ ー 電 機	三 代 半 次 郎
日 立 酸 素	田 岡 英 夫	日 立 電 鉄	北 畠 顕 正
"	長 島 英 夫	"	矢 部 銀 平
"	鈴 木 留 重	"	岩 崎 忠 正
"	今 井 義 臣	"	坂 口 武 夫
茨 城 計 算 セ ン タ ー	牧 野 田 浩	常 磐 鋼 板	吉 岡 武 夫
日 立 機 材	黒 川 正 一 郎	東 日 電 線	鈴 木 富 勝
"	須 能 正 明		寺 師 英 麿
"	樋 熊 常 雄		久 保 田 拙 夫
東 日 建 設	小 林 敏 雄		岡 正 一
日 高 工 場	山 本 三 郎		武 士 源 次
"	武 地 俊 一	大 み か コ ー ス	人 見 善
日 立 電 線 商 会	栗 原 文 夫	キ リ ス ト 教 大 学	浅 野 春 三

## 日立シニア会会則

# 日立シニア会

(H S G)

## 会 則

付 会員名簿

平成13年3月

第1条 (名 称) 本会は日立シニア会という。

第2条 (事務局) 本会の事務局を日立工場大みかコース事務所に置く。

第3条 (目 的) 本会は会員の相互の親睦体位の向上に資することを目的とする。

第4条 (事 業) 本会は前記の目的を達成するため次のことを行なう。  
1. 年6回のゴルフ競技会の開催  
2. 広報誌の発行  
3. その他前条の目的を達成するためのもの

## 平成14年現在の会則

第5条 (会員資格) 本会員は満60才以上で、次に該当する者とする。  
1. (株)日立製作所、日立電線(株)、日立化成工業(株)各社の課長(主任技師を含む)以上の職にあった者  
2. 会長の認めた者

第6条 (入会手続) 本会に入会を希望する者は、規定用紙に所定の事項を記入し、本会会員である推薦者(1名)の署名捺印をうけ、事務局に届出て会の承認を受ける。推薦者は新入会員の指導責任を負うものとする。

第7条 (役 員)

1. 本会の役員  
会 長 1 名  
副会長 若干名  
委 員 若干名  
監 事 2 名  
必要に応じ顧問をおくことができる。
2. 役員任期  
役員任期は1ケ年とし、4月1日から翌年3月末日の期間とする。  
補欠によって就任した役員任期は前任者の残任期間とする。
3. 役員再選重任は妨げない。

- 第8条（役員の仕事） 1.会長は会を代表し、会務を総括する。  
2.副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはあらかじめ会長が指名した順によって会長の職務を代行する。  
副会長は会長の委嘱により委員会の業務を管掌する。  
3.委員の会務の執行を補佐する。  
4.監事は会計監査を行い、その結果を総会において報告する。  
5.顧問は会務について会長の諮問にこたえる。

- 第9条（総会） 毎年4月に定期総会を開催する。  
ただし、必要に応じ臨時総会を開催することができる。

- 第10条（委員会） 1.本会の運営は役員会が行う。  
役員会は会長、副会長及び委員を以って構成する。  
2.役員会内に、総務、競技、エチケット、広報の各委員会を置く。  
3.各委員会に委員長をおき運営に当たる。

- 第11条（役員の仕事） 1.会長、副会長、顧問は総会で推薦する。  
2.委員長および各委員は会長の推薦した者とする。  
3.監事は、総会で会長、副会長、委員以外の会員より選任する。

- 第12条（会費） 1.本会運営のための会費として年3,000円を徴収する。  
2.競技会費用は別途徴収する。

- 第13条（改正） この規則を改正しようとするときは会員の意向を汲み総会でこれを決める。

#### 付 則

1. 競技会の通知に対する出欠回答が3回以上ない場合は事後の通知は行わない。
2. 年会費を指定期日までに納入しない場合は退会扱とする。
3. 競技会に参加を申し込んだ者が参加できなくなったときは、可及的速やかに競技委員長に申出て参加を取り消すこと。  
2日前以降取消しの場合は、不参加料として2,000円を徴収するものとする。
4. 新入会員の競技会参加は、競技会の円滑な運営を図るため、入会后若干の期間制限することがある。
5. 各委員会の主たる業務内容
  - 1) 総務委員会      イ) 会則の制改訂に関する事項

- ロ) 会員名簿および会員の入退会に関する事項
- ハ) 年次総会および役員会の開催に関する事項
- ニ) 会資金の出納ならびに保全に関する事項
- ホ) どの委員会にも該当しない事項

- 2) 競技委員会
- イ) 年間競技日程表の作成および会長の承認を得て㊦庶務課への届出
  - ロ) 競技会開催通知の発行および出欠取纏め
  - ハ) 競技会組合せ表の作成
  - ニ) 競技会賞品の準備
  - ホ) 競技会当日の受付ならびに会費徴収
  - ヘ) 競技成績の取纏め
  - ト) 表彰式場の設定および表彰式の進行
  - チ) 競技会成績記録ならびにハンデキャップ記録の保管管理
  - リ) 競技会運営に関する事項
  - ヌ) ハンデキャップの定期的見直し
  - ル) 当会の所有する事務用品の管理

- 3) エチケット委員会
- イ) ルール知識の向上
  - ロ) マナー、エチケットの周知徹底と違反者に対する指導
  - ハ) 大みかローカルルールの指導
  - ニ) 新入会員に対する指導教育
  - ホ) チームリーダーの役割明確化

- 4) 広報委員会
- イ) 広報誌（年2回発行）の編集に関する事項
  - ロ) 広報誌の発行および配付に関する事項

#### 細規1. 競技会における表彰

(1) 競技会の表彰は次の基準による。

	賞 名	入 賞 該 当 者	備考(参加者54名の例)
1	順 位 賞	参加者の半数までの順位の者	27位まで
2	飛 び 賞	順位入賞者以下で5位の倍数の順位の者 ただし最下位から5名を除く	30、35、40、45位
3	ブ ー ビ ー 賞	最下位より1位上の順位の者	53位
4	ベ ス グ ロ 賞	ベストグロスのスコアの者	
5	ニ ヤ ピ ン 賞	指定ホールにおいて初打が最もピンに近 かった者	ホールインワンを除 く
6	ホールインワン賞	該当者	当会員に対する返礼 は不用とする
7	エイジシュート賞	該当者	同 上

(2) 同ネットスコアの場合の順位の決め方

同ネット者が複数のときは、次の基準と順序により上位者を決める。  
ただし、入賞者が表彰式に出席しない場合は、次席者を順次繰り上げる。  
飛び賞は変更しない。

- ① ハンディキャップ上位者      ② 1ラウンド目の成績  
③ 2ラウンド目の成績          ④ 生年月日の早い者

(3) ベスグロ賞の決め方

同グロス者が複数のときは、次の基準と順序により決める。

- ① 生年月日の早い者          ② ハンデキャップの下位者  
③ 1ラウンド目のスコア

(4) 競技会初参加者が上位3位以内のスコアの場合の取扱い

- ① 初参加者は、第4位以下に順位を繰下げる  
② 初参加者は、繰下げ前の順位で、本細則2ハンデキャップの改訂の適用を受ける

細規2. ハンデキャップの改訂

(1) 競技会入賞者のハンデキャップ改訂

A)ハンデキャップの改訂は上位3位までとし、次の基準により改訂する。

ただし、3位者以下にもアンダーパープレイ者があったときは、そのアンダー分のみ差引くものとする。

- ① 優勝者      アンダー分を差引き、さらに20%引き  
② 準優勝者    アンダー分を差引き、さらに15%引き  
③ 3位者        アンダー分を差引き、さらに10%引き

B)ハンデキャップ改訂時、小数点以下の端数の取扱い方。

- ① 0.5以下は切り捨て                      (例) 24.2→24      18.5→18  
② 0.5を超えるものは切り上げ            (例) 30.6→31      16.8→17  
③ 3位者        アンダー分を差引き、さらに10%引き

(2) ハンデキャップの定期的見直し

ハンデキャップは過去2年間の競技実績をもとに次式により算出し、平成偶数年の第1回競技会より実施する。ただし、2年間の出場回数が4回以下のときは改訂されない。

● 計算式

$$\frac{\text{本人の競技会での打数合計}}{\text{本人の競技会参加回数}} = A \quad A - 72 = B \quad B \times 0.8 = \text{見直し後のハンデキャップ}$$

A = 本人の平均ストロークを示す      0.8 = 係数

● Mさんの例示

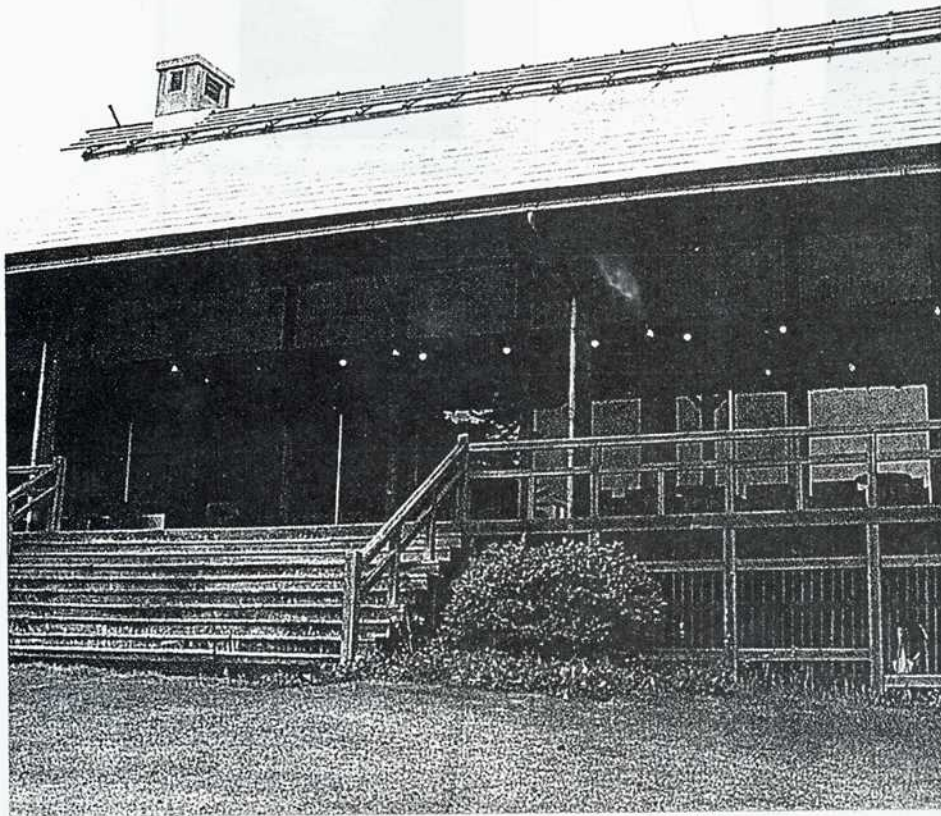
$$\frac{99 + 102 + 91 + 105 + 96 + 98 + 90 + 102 \text{ (Mさんの実績)}}{8 \text{ (Mさんが参加した回数)}} = \frac{783}{8} = 97.88$$
$$97.88 - 72 = 25.88 \quad 25.88 \times 0.8 = 20.7 \rightarrow 21 \text{ (Mさんの見直し後のハンデキャップ)}$$



# 大みかクラブ 1936年(昭和11) 日立市大みか町6

## 茨城の20世紀遺産

▷37◁



階段やテラスには先人たちのスパイクの跡が残る

クラブの支配人滝田幸紀 冊のアルバムを初めて手に  
さん(58)(日立市森山町) した。代々の支配人に引き  
は五年前に着任した際、一 継がれてきたもので、中に

### ゴルフのれい明期刻む

はゴルフ場の開場式から始 開放されている木造とコン 立製作所の創業者小平浪平  
まる百枚近い写真が収めら クリート造りのクラブハウ が、社員健康管理などを  
れていた。 目的に開設した「日立ゴル フ俱樂部」。太平洋を一望  
今は結婚式場などとして のクラブハウスだった。日

する丘に広がり、県内では 初のコースだった。

社員はすぐに未知のスポ ーツの魅力にとりつかれ、 仕事を終えるとグリーンに 直行した。プレー後はクラ ブハウスのテラスで潮風に 吹かれたり、談話室でペチ カの火を囲みながら、ゴル フ談議に花を咲かせた。

だが、のどかな時代はず ぐに終わりを告げる。出征 の祝賀トナメントが開か れるようになり、テラスで は「最後」の記念写真が撮 られた。四三年(昭和十八) には閉鎖。コースは戦時下 の食糧不足を補う農場へ、 クラブハウスは福利厚生施



### 神殿造りの中にペチカの「和洋融合」



戦前、社員はペチカの火を囲み でゴルフ談議に花を咲かせた

設に変わった。 ようやくゴルフ場が復活 したのは、終戦から五年目。 なっていた写真は仲間にも 三ホールからの再出発。し を掛けて集めた。

「このアルバムを開くと、 当時の社員が抱いていたゴ ルフ場への思いが伝わって くるんです」。そう話す滝 田さんも、ゴルフ場の写真 を撮り始めた。手元には四 季折々の姿を映したものが だらしない。アルバム もう何枚もたまっている。

は、当初からの会員の一人 が戦前のゴルフ場の姿を記 (中島 久美子)

◆メモ ゴルフ場の現在 た和洋融合の建物。七四年 の名称は「大みかゴルフコ ース」で、計八ホール。ク マが茨城国体の視察の際に ラフハウスは、登録文化財 となっていた東大・安田講 堂(東京都文京区)などを 手がけたこと知られる近 代建築の巨匠、故・岸田日 出刀(ひでこ)氏の設計。 問い合わせは大みかクラブ (0294・52・5050) へ。





三好 幹人

向い風ティ低くして大ダブリ  
 バーゲンのクラブでしめす腕の冴え  
 パーパット外れて悔し深呼吸  
 四番の松枯れてなお難しき  
 ニアピン賞仏顔なり八十路ふむ  
 エチケツト守るプレーのシニア会  
 老いの目にナイスショットの球見え  
 フェアウエー刻みにダブル傘寿かな  
 オービーと云われてぞ知るオールドボーイ  
 青々と続く芝生でボール打つ  
 バンカーを均し均しに悔い残す  
 ワンオンしニアピンの夢去りやらす  
 綱越えぬ嘆きとてなき八十路かな  
 後番では目土無くして軽るカート

村尾 勝治

この組合せ今日はいけるぞ力みすぎ  
 スタートまで待ちが長くて早や乱れ

結城 正康

大みかで始終苦汁の吾傘寿  
 しんがりの運の強さにあやからん  
 『先生はシード選手』が自慢なり  
 美人プロ良くぞシードを取りにける

渡部 正義

バーデイを狙ってはすしボギーとし  
 プロ並みの格好良さは素振りだけ  
 楽しいなダフチョロテンプラフォーパット

吉田 晴彦

プロの名を孫に名付けて明日に夢  
 嬉しくも寂しくもあり新ハンディ  
 衰えを意気で乗り切るAクラス  
 衰えも道具で庇うBクラス  
 衰えを意地でも見せぬCクラス  
 一番の松籟第五の如くなり  
 君知るや二番ツォンした昔  
 三度とも三番サンドで散財し  
 四番には横綱お座し無事仕切る  
 シニアにはリフト恋しい五番坂  
 美しき六番やがて修羅と化す  
 スライスの俺大みかは鬼門なり  
 アイアンを木に入れ替える古稀となり  
 新ペリア押れ親しんでゴルフ荒れ  
 お風呂場にロダンと猿と戸張捷  
 A組は朝暗いのに供揃え  
 鳥小屋は高反発の目白押し  
 チョロシヤンクイプスそれでも明日がある  
 病院とゴルフで変わる目の光

涌井 滋

今日もまた右に左に我がゴルフ  
 「たられれば」を数えて笑顔優勝者

会報三号（平成十年四月）〜十二号（平成十四年九月）  
 に投稿されたもの

“惜しいな！”と口と心は裏表

二平 豊治

『飛ばしたい』が『健管』になるAクラス  
NP賞狙って六番トリとなり  
謀ったに挨拶だけは謀らずも  
若い気が五番の坂で老いを知る  
プロとアマバーディパットの入れはずし  
BBをベストボーイと妻に説き

荻原 覚

寒の入りボールはグリーンを超特急  
今日もまたショットのミスを湯に流し  
バンカーをならさぬ罰に大目玉  
入賞に一打足らずにタラとレバ

橋本 正明

五番坂地獄の次は毒饅頭

長谷部信雄

へボゴルフ読めぬ芝目に時間かけ  
この芝我が家の芝にさも似たり  
大乱れ明日のハンディに期待抱き  
バンカー避け手前に止めて次打バンカー  
チヨ口続きカートに乗れず健康ゴルフ  
良く飛べばナイスOBと励まされ

皆川 公

スコアーを忘れる今日の寒さかな

ニューボール変えた途端に池にポチャ

宮田 賢

たまさかのバーディ狙い四パット  
ナイスショット暫しは行方見惚れてる  
饅頭グリーンナイスボギーの声かかる  
また林今日も飛び賞狙う出来  
歳とった覚えのないなティショット  
メタルだが飛距離はチタンに負けてない  
しんがりはきまって私ティショット  
イーブンパー手加減したよな三周目  
飛距離からだんだん老いを知らされる  
ワレ好調カレ絶不調でも同スコア  
一つ覚え二つ忘れるマイゴルフ  
リーダーマーク気配りするも技のうち  
同伴者のお陰で結ぶご挨拶  
会報で健在を知る上位賞  
工場で会った顔かも同伴者  
飛距離落ちロングホールをもてあます  
新製品買ったが飛距離変わらない  
前進四打いつものパターン驚かず

三好 幹人

週二回松にささやく長寿かな  
エチケツト心をよぎりパーとなる  
こうだよとおしえたがる紳士達  
黄杭が虎で吠えても入り込む  
区域外教えて二罰教えたり  
禁なのに跡残し去るレスシューズ  
日脚伸び飛距離も伸びて芝青む  
ティポットを埋めて笑顔のシニア会

飛び賞に今日のモヤモヤ全て消え

坂本 久

一段と大きな拍手のブービー賞

桜井正一郎

定年を迎えてゴルフ熱が入り

ザックリやり肩の力を抜く仕事

コンペ近し練習したらと追い出され

キャディにマナーほめられちよつとテレ

芝目よみいざ打つときにまた迷い

パートナーをほめてトロフィー高く上げ

心せよ気合と力みは紙一重

我れだんまりライバルはしゃぐ風呂の中

ライバルのミスショット見て見ぬふり

赤提灯タラレバサカナに氣勢アゲ

シャンクし次の一打を打ちあぐみ

ボール拭くキャディの指にそつと触れ

ライバルのミスショットにも心ゆれ

迷わぬぞ自分は自分人は人

ニューウエアフェアウエーを闊歩する

淡々と無理せず焦らず心地良く

良いショット一打に賭けるアマゴルフ

志賀 元弘

「枯れてるね」云われて力む若気かな

鈴木美代治

「結果良し」期待ばかりでダブルバー

猛暑の日文句も言わずプレイする

曾根原隆士

この暑さボールが池にまっしぐら

高崎 健三

ボールさえ水が恋しいシニア会

高島 祐吉

我が夢は一番ティーの露と消え

商品券足しにならぬと女房が言う

高須 徳二

大みか焼手にした女房満足気

田代 末吉

乗用でゴルフの寿命ぐつと伸び

初優勝天にも昇る夢心地

長瀬寿美雄

優勝を意識過ぎてフォアパット

シニアゴルフ歳のハンデでパープレイ

飛ばし屋とグリーン上でも大あたり

二平 豊治

行く先はボールが悪いとニューブランド

女子プロの手術を受けて重症に

ミスショットミスパット肴に酌み交わし

ゴルフ歴だけが自慢の年となり

下降線教えた部下に教えられ  
ライバルもプレー終わればもとの仲

疲れたと女房に言えぬ連ゴルフ  
どっと湧く思いがけずの繰上げ賞

安達 好夫

道楽も十本目なり1W

一木 利信

判断を欲が邪魔して悪くなり

植田 光

あの一打しきりに悔やむ準優勝

月五回多いと女房愚痴を言い

ダンベルに飛距離の夢よ今一度

チャンピン戦思わぬ入賞舞い上がり

多過ぎるチェックポイント役立たず

早打ちを戒めながら早くなり

牛田 義幸

あるがまま平常心でといざ出陣

タラレバのあのワンパットが天地の差

会報の笑顔が語る必勝談

大川 幹彦

運としか云いようのないチップイン

反省も毎度となれば救い難く

バーデイもオリンピックの金に負け

大貫 龍蔵

腕だめし気持ちと腕が逆になり

岡村 参次

今日こそがすぐに変わるか今度こそ  
冷や汗が惜しいの声を絞り出す

小野寺 敬

年ほどは打たぬと力むハーフかな

河村 三郎

老いたれど猶百獣の王たらん

老いたれどオリンピックで憂さ晴らし

老いてなお芝が相手の日々嬉し

気の弱さそのままパターにあらわれる

ネットではエイジシユートを達成す

オリンピックやたらエプロンにしがみつ

物臭もゴルフの朝は早く起き

老骨にレッスンプロの無理無体

栗本 茂

今日も又我流ゴルフのツケに泣き

自惚れを諫める如き水柱

黒澤 光明

連続のエースに私も希望持ち

ワークシユア猛打賞も譲り合

斎藤 隆

バーデイでオナーをとってチョロを出し

足腰に手引きカートは良い薬

チョロ玉も言い訳できる歳となり

特注の手袋はめてミスショット

# HSG発足からの年表

\*印 新任者

年 度	S 4 8 年	S 4 9 年	S 5 0 年	S 5 1 年
役 員	会 長 *柴田 正男 幹 事 *高松 武, *綿引恒之介 *人見 善 顧 問 *綿森 力, *北山直太郎 *寺師 英麿, *小林徳太郎 *関 仁	同左  新任 幹事 *小林 次郎	同左	同左
会員数/組数	54名/1組	60名/1組	59名	56名/1組
競 技 会 記 録	回数	第1回	第10回	第16回
	参加人員	21名	19名	17名
	優勝	武地 俊一	高田 行雄	宮崎 覚
	NET			
	B.G			
	回数	第2回	第5回	第11回
	参加人員	22名	19名	18名
	優勝	武士 源次	篠田 六郎	矢部 銀平
	NET			
	B.G			
	回数	第3回	第6回	第12回
	参加人員	20名	23名	17名
	優勝	吉岡 武夫	高田 行雄	斎藤 堅次
	NET			
	B.G			
	回数		第7回	第13回
	参加人員		17名	17名
	優勝		武士 源次	柴田 正男
	NET			
	B.G			
	回数		第8回	第14回
	参加人員		13名	16名
	優勝		武士 源次	広岡喜久治
	NET			
B.G				
回数		第9回	第15回	
参加人員		25名	21名	
優勝		人見 善	吉岡 武夫	
NET				
B.G				
ト ピ ッ ク ス	シニア会発足 第1回競技会 S48.5.16 会員資格 大みか同好会員で58才以上 年会費 ￥1,000 競技会参加費 ￥1,200			



年 度	S 5 2 年	S 5 3 年	S 5 4 年	S 5 5 年	S 5 6 年	
役 員	同左	同左 (但関 仁退任)	同左	同左	同左 新任 幹事 *丸山 常雄, *鈴木 三郎 *山田 清	
会員数/組数	51名/1組	42名/1組	46名/1組	41名/1組	47名/1組	
競 技 会 記 録	回数	第22回	第28回	第34回	第40回	第46回
	参加人員	14名	18名	25名	27名	16名
	優勝	杉沼 八郎	北島 顕正	内田 信夫	泉 八郎	丸山 常雄
	NET					
	B.G					
	回数	第23回	第29回	第35回	第41回	第47回
	参加人員	24名	18名	21名	18名	21名
	優勝	斎藤 隆	人見 善	樋熊 常雄	前田 繁	綿引 恒之介
	NET					
	B.G					
	回数	第24回	第30回	第36回	第42回	第48回
	参加人員	18名	18名	23名	23名	17名
	優勝	樋熊 常雄	高松 武	山田 清	橋本 敦夫	内田 信夫
	NET					
	B.G					
	回数	第25回	第31回	第37回	第43回	第49回
	参加人員	18名	18名	18名	17名	18名
	優勝	鈴木 三郎	鈴木 三郎	武士 源次	前田 繁	加藤 彰
	NET					
	B.G					
	回数	第26回	第32回	第38回	第44回	第50回
	参加人員	22名	16名	11名	17名	20名
	優勝	柴田 正男	小林 敏夫	山田 清	鈴木 三郎	井上 利夫
	NET					
B.G						
回数	第27回	第33回	第39回	第45回	第51回	
参加人員	20名	21名	28名	20名	24名	
優勝	鈴木 三郎	人見 善	長島 英夫	丸山 常雄	宮崎 覚	
NET						
B.G						
トピックス	会員資格 58才以上を 60才以上に変更  年会費 ¥2,000 競技会参加費 ¥2,200		競技会参加費 ¥2,500	競技会参加費 ¥3,000	競技会不参加ペナルティー 前日以降取消しの場合賞品代 のみ(¥1,200)徴集	

年 度	S 5 7 年	S 5 8 年	S 5 9 年	S 6 0 年	S 6 1 年	
役 員	会 長 柴田 正男 幹 事 丸山 常雄, 鈴木 三郎 山田 清	同左	同左	同左	同左	
会員数/組数	46名/1組	44名/1組	47名/1組	82名/1組	86名/1組	
競 技 会 記 録	回数	第52回	第58回	第63回	第69回	第74回
	参加人員	26名	22名	25名	34名	38名
	優勝	久保田 富也	大屋 三郎	杉江 俊夫	杉江 俊夫	伊藤 謙三
	NET				49(2ラウンド)	71
	B.G				杉江 俊夫	杉江 俊夫
					59(2ラウンド)	88
	回数	第53回	第59回	第64回	第70回	第75回
	参加人員	27名		32名	29名	38名
	優勝	武士 源次		杉江 俊夫	山口浩三郎	鈴木 三郎
	NET				75	74
	B.G				鈴木 三郎	鈴木 三郎
					88	83
	回数	第54回	第60回	第65回	第71回	第76回
	参加人員	24名	24名	32名	44名	40名
	優勝	斎藤 隆	久保田富也	藤 茂	青木 忠	佐藤栄之助
	NET				70	70
	B.G				鈴木 三郎	鈴木 三郎
					80	82
	回数	第55回	第61回	第66回	第72回	第77回
	参加人員	19名	32名	30名	35名	45名
	優勝	戸張 忠次	戸張 忠次	工藤 繁	内田 信夫	長島 英夫
	NET				74	70
	B.G				鈴木 三郎	鈴木 三郎
					85	82
	回数	第56回	第62回	第67回	第73回	第78回
	参加人員	21名	31名	26名	37名	46名
	優勝	斎藤 隆	山口浩三郎	前田 繁	大屋 三郎	青木 忠
	NET				72	74
B.G				鈴木 三郎	青木 忠	
				89	84	
回数	第57回		第68回		第79回	
参加人員	24名		32名		45名	
優勝	井上 利夫		久米 靖		鈴木 三郎	
NET					73	
B.G					鈴木 三郎	
					80	
ト ピ ッ ク ス	シニアマーク作成					

年 度	S 6 2 年	S 6 3 年	H 0 1 年	H 0 2 年	
役 員	会 長 柴田 正男 幹 事 丸山 常雄, 鈴木 三郎 山田 清	同左	会 長 *橋本 敦夫 幹 事 丸山 常雄, 鈴木 三郎 *戸張 忠次	同左	
会員数/組数	/1組	/1組	125名/1組	/ 組	
競 技 会 記 録	回数	第80回	第86回	第92回	第98回
	参加人員	57名	67名	68名	74名
	優勝	丸山 常雄	黒沢 秀一	野老 昭夫	中村 久雄
	NET	50 (2ラウンド)	70	70	72
	B.G	杉江 俊夫	宗光 厚, 青木 忠	野老 昭夫	杉江 俊夫
		59 (2ラウンド)	89	88	89
	回数	第81回	第87回	第93回	第99回
	参加人員	56名	63名	46名	63名
	優勝	一木 利信	斎藤 隆	高松 武	三好 幹人
	NET	75	71	73	69
	B.G	鈴木三郎, 杉江俊夫	宗光 厚	宗光 厚	伊藤 秀雄
		91	87	87	87
	回数	第82回	第88回	第94回	第100回
	参加人員	49名	58名	70名	61名
	優勝	丑田 賢治	宮田 賢	清野 信二	下 昭次
	NET	71	69	70	68
	B.G	宗光 厚	永井 守久	宗光 厚	柴原・伊藤・宗光
		81	86	81	86
	回数	第83回	第89回	第95回	第101回
	参加人員	52名	59名	55名	62名
	優勝	丑田 賢治	二平 豊治	須田 長治	小林 豊治
	NET	71	72	70	69
	B.G	宗光 厚	宗光 厚	鈴木 三郎	柴田 一・青木忠
		85	83	85	86
	回数	第84回	第90回	第96回	第102回
	参加人員	36名	55名	66名	65名
	優勝	鈴木 積	宗光 厚	長山 勝	石川 武重
NET	72	67	50.3 (2ラウンド)	66	
B.G	鈴木 三郎	宗光 厚	二平 豊治	二平 豊治	
	81	77	57.0 (2ラウンド)	86	
回数	第85回	第91回	第97回	第103回	
参加人員	54名	67名	62名	65名	
優勝	杉江 俊夫	小沢 清	浅利 幹雄	根本 四郎	
NET	74	73	69	60 (2ラウンド)	
B.G	杉江 俊夫	宗光 厚	鈴木 三郎	青木忠, 伊藤秀雄	
	87	81	85	60 (2ラウンド)	
ト ピ ッ ク ス			会則抜粋 ・競技会案内の回答3回以上ない場合は、以後の案内はしない。 ・年会費1年以上納入のない場合は退会扱い。  会長交替		

年 度	H 0 3 年	H 0 4 年	H 0 5 年	H 0 6 年	
役 員	会 長 橋本 敦夫 幹 事 丸山 常雄 鈴木 三郎 戸張 忠次 *二平 豊治	同左  新任 幹事 *加藤 彰 *一木 利信 *青木 忠 *黒沢 秀一 *下 昭次 *阿部 章 *大内 政男	同左  新任 副会長 *丸山 常雄 幹事 *伊藤 秀雄 *櫻井 政歳	同左	
会員数/組数	名/1組	147名/2組	175名/2組	186名/2組	
競 技 会 記 録	回数	第104回	第110回	第116回	第122回
	参加人員	75名	71名	A組 41名 B組 39名	A組 47名 B組 49名
	優勝	川和田七郎	吉田 金太郎	杉江 俊夫 須田 長治	中崎豊一郎 岡 和郎
	NET	71	73	72 79	72 71
	B.G	中崎豊一郎	柴田 廣	杉江 俊夫 吉田 晴彦	永井 守久 佐藤 幹夫
		86	90	86 94	89 87
	回数	第105回	第111回	第117回	第123回
	参加人員	57名	A組 34名 B組 34名	A組 38名 B組 39名	A組 50名 B組 45名
	優勝	青木 忠	宗光 厚 永井 守久	青木 忠 柴原 健三	遠藤 正男 中山 恵
	NET	71	73 67	71 72	71 68
	B.G	青木 忠	宗光 厚 永井 守久	青木忠、杉江俊夫 二平 豊治	鈴木三郎、杉江俊夫 二平、高根、清宮
		85	88 83	86 85	90 86
	回数	第106回	第112回	第118回	第124回
	参加人員	72名	A組 30名 B組 42名	A組 40名 B組 21名	A組 41名 B組 57名
	優勝	丑田 賢治	須田 武揚 山本 清	大津 正敬 田島 増陸	一木 利信 細川 靖
	NET	67	69 67	71 77	69 71
	B.G	中山 恵	伊藤 秀雄 山本、海老原	青木 忠 二平 豊治	宗光 厚 大内 政男
		85	87 90	87 90	83 86
	回数	第107回	第113回(合同)	第119回	第125回
	参加人員	55名	68名	A組 45名 B組 46名	A組 33名 B組 55名
	優勝	石崎 幸	永井 秀夫	丑田 賢治 阿部 章	杉山 千 吉田 晴彦
	NET	47(2ラウンド)	69	71 70	65 67
	B.G	鈴木 三郎	石崎 幸 二平 豊治 鈴木 三郎	宗光厚、柴田一 二平 豊治	永井 守久 二平 豊治
		55(2ラウンド)	87	87 82	82 84
	回数	第108回	第114回	第120回	第126回
	参加人員	62名	A組 33名 B組 31名	A組 32名 B組 38名	A組 24名 B組 53名
	優勝	豊澤 有幸	大和田 勤 高根 元	大津 正敬 河村 三郎	石崎 幸 萱野 宏
NET	48(2ラウンド)	69 67	71 70	70 68	
B.G	海老原、二平、伊藤	鈴木 三郎 高根 元	大津、伊藤、青木 二平 豊治	鈴木三郎、永井守久 萱野 宏、鈴木静二	
	60(2ラウンド)	87 81	90 89	88 85	
回数	第109回	第115回(合同)	第121回(合同)	第127回(合同)	
参加人員	61名	51名	65名	74名	
優勝	永井 守久	二平 豊治	杉山 千	柴田 廣	
NET	46(2ラウンド)	71	69	67	
B.G	永井 守久	二平 豊治	柴原 健三	柴田 廣、中山 恵	
	55(2ラウンド)	86	86	86	
トピックス		会則抜粋 ・年会費を指定日まで納入しない場合、退会扱い。 競技会 ・会員増に伴いA,Bの2組に分けて実施 ・合同コンペを1回/年実施 会員名簿 地区別に編集	会則抜粋 ・顧問、副会長を設ける。 ・総務、競技、エチケツト委員会を設ける。  年会費 ￥5,000		

年度	H 0 7 年		H 0 8 年			H 0 9 年				
役員	会長 橋本 敦夫 副会長 丸山 常雄 幹事 鈴木 三郎, 加藤 彰 一木 利信, 伊藤 秀雄 二平 豊治, 黒澤 秀一 下 昭次, *柴田 一 大内 政男, 阿部 章 櫻井 政歳		会長 *高橋 市蔵 副会長 *一木 利信, *斎藤 隆 総務委員 *久保寺朝二, 黒沢 秀一, 二平 豊治, 競技委員 鈴木三郎, *阿部 章, 櫻井 政歳, *皆川 公, *涌井 滋, *高橋 祐吉 *小又洋次, *菅谷恒朗, *桜井正一郎 エチケット委員 *三好 幹人, 柴田 一, *河村 三郎			会長 高橋 市蔵 副会長 一木 利信, 斎藤 隆 総務委員 二平 豊治, 黒沢 秀一, *石崎 幸 競技委員 鈴木三郎, 阿部 章, 櫻井 政歳, 皆川 公, 涌井 滋, 高橋 祐吉 小又洋次, 菅谷恒朗, 桜井正一郎 エチケット委員 三好 幹人, 柴田 一, 河村 三郎 広報委員 *久保寺朝二, *宮田 賢, *吉田晴彦 *嶋野 末吉, *植田 光				
会員数/組数	234名/2組		276名/3組			334名/3組				
競 技 会 記 録	回数	第128回		第134回			第140回			
	参加人員	A組 63名	B組 46名	A組 57名	B組 69名	C組 50名	A組 48名	B組 34名	C組 50名	
	優勝	黒沢 秀一	新谷 雅男	柴田 一	小野寺 敬	大川 留秋	石川 武重	勝木 孝	勝木 孝	
	NET	71	69	70	70	66	70	69	69	
	B.G	二平 豊治	高根 元	青木 忠	佐藤 正明	二平 豊治	佐藤 幹夫	吉田 勝木	吉田 勝木	
		84	85	85	85	88	86	82	82	
	回数	第129回		第135回合同コンペ (日立ゴルフ)			第141回合同コンペ (日立ゴルフ)			
	参加人員	A組 54名	B組 52名	A組 45名	B組 53名	C組 35名	A組 44名	B組 52名	C組 53名	
	優勝	田島 増陸	栗原 誠	藤 茂	肥沼 忠男	米川 弘	鷺山 重也	小野寺 敬	嶋野 末吉	
	NET	69	71	68	65	67	63	67	69	
	B.G	二平 豊治	坊坂 明	中崎 青木	坊坂 明	佐藤 正明	二平 豊治	斎藤 常次	長谷部信雄	
		85	84	86	79	81	84	82	77	
	回数	第130回		第136回			第142回			
	参加人員	A組 56名	B組 57名	A組 30名	B組 48名	C組 45名	A組 56名	B組 44名	C組 50名	
	優勝	伊藤 秀雄	梅田 実	山本 清	川野 正美	加藤 格司	宮田 猛	涌井 滋	菅野 勘	
	NET	70	65	69	66.5 (換算)	67	76	63	70	
	B.G	中崎豊一郎	斎藤 常次	青木 忠	中山 恵	鈴木 静二	二平 豊治	涌井 滋	渡部 正義	
		86	83	88	81 (換算)	82	91	78	81	
	回数	第131回		第137回			第143回			
	参加人員	A組 54名	B組 50名	A組 53名	B組 46名	C組 51名	A組 58名	B組 30名	C組 57名	
	優勝	須田 長治	坊坂 明	豊澤 有幸	高島 祐吉	鈴木 静二	杉浦 重夫	桜井正一郎	伊藤 廉	
	NET	67	72	67	66	70	72	69	68	
	B.G	宗光 厚	青木 忠	坊坂 明	青木 忠	高根 元	吉田 善一	青木 忠	桜井正一郎	吉田 善一
		84	81	85	79	78	86	85	80	
回数	第132回		第138回合同コンペ (日立ゴルフ)			第144回				
参加人員	A組 48名	B組 66名	A組 36名	B組 42名	C組 47名	A組 52名	B組 55名	C組 61名		
優勝	宗光 厚	近藤晋司	二平 豊治	三好 文之	植田 光	宮田 賢	笠間 良治	高崎 健三		
NET	68	66	69	69	67	71	67	65		
B.G	宗光 厚	鈴木 静二	二平 豊治	大内, 川松	植田 光	青木 忠	桜井正一郎	勝木 孝		
	79	84	81	84	81	85	82	77		
回数	第133回		第139回			第145回 合同コンペ (日立ゴルフ)				
参加人員	A組 54名	B組 69名	A組 41名	B組 52名	C組 60名	A組 41名	B組 52名	C組 48名		
優勝	河村 三郎	赤塚 淳	今井 義臣	栗原 誠	山崎 一二	柴田 廣	保田 和雄	田嶋 基文		
NET	72	65	69	71	69	70	70	71		
B.G	二平 豊治	大内 政男	二平 豊治	高根 元	長谷部信雄	二平 豊治	高根 元	鈴木 静二		
	86	82	84	84	85	83	84	78		
ト ピ ッ ク ス	会則抜粋 ・役員任期 4/1~翌年3/E 総会は毎年4月開催と改定 大みかコースにテレビを 寄贈 (H 7年12月)  年会費 ¥3,000		会則抜粋 ・競技会無断欠席ペナルティー明 記 競技会 ・会員増加に伴いA~Cの3組に分 けて実施 会長交替, 委員会組織編成 白戸プロレッスン会実施 (H8-12-12)			会則抜粋 ・広報委員を新設し①総務②競技③ エチケット④広報の4委員会とする。 会報創刊号発行 (H9年7月) マナー・エチケット集を作成 全会員に配付  白戸プロレッスン会実施 (H10-01-30)				

年 度	H 1 0 年				H 1 1 年			
役 員	会 長 高橋 市蔵 副会長 一木 利信, 齋藤 隆, *鈴木 三郎 総務委員 二平 豊治, 黒沢 秀一, 石崎 幸 競技委員 阿部 章, 櫻井 政歳, 皆川 公 涌井 滋, 高島 祐吉, 小又 洋次 菅谷 恒朗, 桜井正一郎, *鈴木 敏彦 エチケツト委員 三好 幹人, *丹波 誠一, 河村 三郎 *北條 勤 広報委員 久保寺朝二, 宮田 賢, 吉田 晴彦 嶋野 末吉, 植田 光				同左 新任 監事 *山崎 精二, *結城 正康 競技委員 *根本 清, *倉田 賢, *幸田 智一 エチケツト委員 *星 昌 広報委員 *安達 好夫			
会員数/組数	395名/3組				451名/4組			
競 技 会 記 録	回数	第146回			第152回			
	参加人員	A組 44名	B組 42名	C組 80名	A組 57名	B組 62名	C組 67名	
	優勝	結城 正康	小野寺 敬	小田切 亘	綾部平八郎	遠藤 儀昭	養輪 勉	
	NET	73	72	73	69	66	71	
	B.G	青木 忠	高根 元	植田 光	青木, 中山	鈴木 敏彦	養輪 勉	
		85	85	83	87	79	79	
	回数	第147回合同コンペ (日立ゴルフ)			第153回合同コンペ (日立ゴルフ)			
	参加人員	A組 52名	B組 67名	C組 51名	A組 51名	B組 54名	C組 46名	D組 53名
	優勝	杉山 千	田嶋 基文	松本 正男	須田 長治	高島 祐吉	鈴木 敏彦	砂田 正義
	NET	62	66	68	73	67	71	69
	B.G	斎木 虎夫	斎藤 常次	吉田 善一	青木 忠	吉田 晴彦	鈴木 敏彦	岡田 伸一
		88	82	79	89	82	78	85
	回数	第148回			第154回			
	参加人員	A組 61名	B組 61名	C組 59名	A組 46名	B組 33名	C組 47名	D組 55名
	優勝	中崎豊一郎	八木 秀幸	小宮山 豊	川崎 健嗣	大川 幹彦	中津川恵一	根本 清
	NET	68	64	65	71	68	71	64
	B.G	中崎豊一郎	八木 秀幸	小宮山 養輪	青木 忠	涌井 滋	植田 光	岡田 伸一
		88	82	82	85	81	85	78
	回数	第149回			第155回			
	参加人員	A組 52名	B組 60名	C組 62名	A組 47名	B組 27名	C組 34名	D組 54名
優勝	柴田 廣	八巻 秀雄	長谷部 信雄	中山 恵	名久井徳弥	植田 光	桑島 敏夫	
NET	68	67	69	69	70	67	68	
B.G	柴田 廣	吉田 晴彦	長谷部 信雄	中山 恵	涌井 城取	植田 光	海老根克明	
	87	83	79	82	86	77	79	
回数	第150回合同コンペ (日立ゴルフ)			第156回合同コンペ (日立ゴルフ)				
参加人員	A組 41名	B組 71名	C組 54名	A組 46名	B組 53名	C組 44名	D組 48名	
優勝	菅原 寧	田切 勝之	菅野 勘	清宮新一郎	高根 元	大貫 龍蔵	岡田 伸一	
NET	69	67	69	72	72	72	69	
B.G	二平 豊治	小又 洋次	長谷部 信雄	二平 豊治	高根 元	鈴木 敏彦	岡田 伸一	
	85	82	77	85	83	83	74	
回数	第151回			第157回				
参加人員	A組 49名	B組 67名	C組 61名	A組 40名	B組 47名	C組 37名	D組 56名	
優勝	田島 増陸	坊坂 明	壁谷 宗春	浅利 幹雄	吉岡 正幸	山崎 善弘	鈴木 英雄	
NET	68	70	68	70	75	71	67	
B.G	青木, 田島	坊坂 明	坂本 久	二平 豊治	涌井 滋	鈴木 静二	渡部 正義	
	85	81	85	86	88	87	79	
トピックス	会則抜粋 ・細則に表彰基準を明記 ホールワン賞新設 150回競技会記念テレカ作成全会員に配付 (齋藤 隆氏筆 大みかコース #6ホールよりの風景入り) 原画 大みかコース事務所に寄贈 150回記念コンペは合同コンペとして日立GCにて 実施 (H10-09-28) 白戸プロレッスン会実施 (H10-12-18)				会則抜粋 ・監事 (会計監査) 新設 競技会 ・会員増加に伴いA~Dの4組に分けて実施 白戸プロレッスン会実施 (H11-12-17)			

年度	H12年				H13年				
役員	会長 高橋 市蔵 副会長 一木 利信 監事 山崎 精二 総務委員 二平 豊治 * 櫻井 政歳 競技委員 阿部 章 高島 祐吉 桜井 正一郎 倉田 賢 三好 幹人 星 昌 広報委員 久保寺朝二 嶋野 末吉	市蔵 隆 利信 正康 精二 結城 正康 二平 豊治 黒沢 秀一 * 櫻井 政歳 阿部 章 皆川 公 高島 祐吉 小又 洋次 桜井 正一郎 鈴木 敏彦 倉田 賢 幸田 智一 三好 幹人 丹羽 誠一 星 昌 久保寺朝二 宮田 賢 嶋野 末吉 植田 光	鈴木 三郎 石崎 幸 幸 滋 恒朗 清 善弘 北條 勤 吉田 晴彦 安達 好夫	顧問 高橋 市蔵 副会長 一木 利信 監事 山崎 精二 総務委員 黒沢 秀一 * 佐藤 式也 競技委員 阿部 章 高島 祐吉 桜井 正一郎 幸田 智一 三好 幹人 * 笠間 良治 久保寺朝二 嶋野 末吉 * 橋本 正明	会長 齋藤 隆 副会長 鈴木 三郎 監事 正康 総務委員 幸 * 櫻井 政歳 公 滋 小又 恒朗 鈴木 清 山崎 善弘 丹羽 北條 宮田 賢 吉田 晴彦 植田 光 安達 好夫	齋藤 隆 鈴木 三郎 正康 幸 * 櫻井 政歳 公 滋 小又 恒朗 鈴木 清 山崎 善弘 丹羽 北條 宮田 賢 吉田 晴彦 植田 光 安達 好夫	齋藤 隆 鈴木 三郎 正康 幸 * 櫻井 政歳 公 滋 小又 恒朗 鈴木 清 山崎 善弘 丹羽 北條 宮田 賢 吉田 晴彦 植田 光 安達 好夫	齋藤 隆 鈴木 三郎 正康 幸 * 櫻井 政歳 公 滋 小又 恒朗 鈴木 清 山崎 善弘 丹羽 北條 宮田 賢 吉田 晴彦 植田 光 安達 好夫	
会員数/組数	497名/4組				506名/4組				
競技会記録	回数 第158回				回数 第164回				
	A組	B組	C組	D組	A組	B組	C組	D組	
	参加人員	35名	44名	47名	51名	62名	39名	37名	50名
	優勝	浅野 次夫	大内 政男	橋本 宏	渥美 秀夫	久保寺朝二	城取 睦	坪井 孝	幸田 智一
	NET	73	70	68	71	72	67	68	69
	B.G	二平 豊治	大内 政男	橋本 宏	渥美 秀夫	坊坂 明	城取 睦	渥美 秀夫	岡田 伸一
		84	83	83	81	89	84	85	77
	回数 第159回合同コンペ (日立ゴルフ)				回数 第165回合同コンペ (日立ゴルフ)				
	A組	B組	C組	D組	A組	B組	C組	D組	
	参加人員	49名	58名	47名	48名	52名	74名	46名	46名
	優勝	伊藤 梧朗	山中 静雄	笠木 博幸	杉山 靖	三好 文之	小野寺 敬	長瀬 寿美雄	小佐野 勝春
	NET	68	68	65	68	66	67	68	66
	B.G	高根 元	江川 仁	渥美 秀夫	今井 信一	高根 元	小野寺 敬	岡田 伸一	畔野 小西
		84	84	83	81	84	84	77	77
	回数 第160回				回数 第166回				
	A組	B組	C組	D組	A組	B組	C組	D組	
	参加人員	54名	54名	40名	50名	50名	56名	28名	28名
	優勝	湊 昭	井藤 誠	橋本 宏	村尾 勝衛	名久井 徳弥	田代 末吉	永田 寿彦	荻原 覚
	NET	67	68	70	63	70	65	70	70
	B.G	青木 忠	佐藤 幹夫	橋本 宏	岡田 伸一	青木 忠	涌井 城取	岡田 伸一	岡田 定五
	84	84	84	79	85	82	77	77	
回数 第161回				回数 第167回					
A組	B組	C組	D組	A組	B組	C組	D組		
参加人員	51名	50名	42名	44名	49名	70名	36名	42名	
優勝	齋藤 常次	大阿久 勝	初谷 荘一	広瀬 利男	新谷 雅男	曾根原 隆士	鈴木 美代治	浪野 忠博	
NET	71	68	64	65	72	66	66	67	
B.G	青木 忠	小又 洋次	渥美 秀夫	渡部 正義	坊坂 明	皆川 公	渡部 正義	小西 健司	
	84	83	81	78	86	84	76	75	
回数 第162回合同コンペ (日立ゴルフ)				回数 第168回合同コンペ (日立ゴルフ)					
A組	B組	C組	D組	A組	B組	C組	D組		
参加人員	50名	58名	44名	58名	49名	65名	37名	45名	
優勝	藪田 太郎	角田 啓輔	志村 浩道	国谷 啓一	坊坂 明	鈴木 静二	安達 好夫	竹下 一成	
NET	68	68	66	63	69	70	70	67	
B.G	青木 忠	大島 俊彦	志村・藤田	渡部・岡田	坊坂 明	久保 英章	岡田 伸一	小西 健司	
	85	84	81	80	80	77	82	75	
回数 第163回				回数 第169回					
A組	B組	C組	D組	A組	B組	C組	D組		
参加人員	44名	50名	40名	65名	54名	56名	45名	47名	
優勝	笠井 大史	皆川 公	長谷部 信雄	今井 信一	佐野 司	坂本 久	村尾 勝治	金子 義和	
NET	72	68	69	68	64	68	70	70	
B.G	笠井 大史	皆川 公	長谷部 信雄	今井 信一	齋藤 常次	鈴木 敏彦	渡部 正義	海老根 満	
	89	82	80	76	83	80	78	83	
トピックス	<p>会則抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付則 会員増により競技会の開催が危惧される場合 新人会員の競技参加は、入会後若干の期間制限することがあるを追記</li> <li>・#6ホールにニアピン賞を設置(H12年07月より)</li> <li>・競技会にてホールインワン達成 #3ホール</li> <li>・第160回 D組 村尾 勝衛</li> <li>・第161回 A組 中野 三郎</li> <li>・合同コンペは春は1組 (H12-09-14)</li> <li>・秋より2組に分けて実施(C,D組 H12-09-14)</li> <li>・(A,B組 H12-09-28)</li> <li>・白戸プロレッスン会実施 (H12-12-15)</li> </ul>				<p>会長交替 (前会長は顧問に就任)</p> <p>合同コンペは2組に分けて実施</p> <p>春は表彰式の後総会を実施 (総会も2回に分けて実施)</p> <p>春(A,D組 H13-04-10) (B,C組 H13-04-19)</p> <p>秋(B,D組 H13-09-06) (A,C組 H13-09-20)</p> <p>H13年度チャンピオンシップ戦実施(H14-4-25)</p> <p>白戸プロレッスン会実施 (H13-12-14)</p>				

年 度	H14年			
役 員	顧問 副会長	高橋 市蔵 一木 利信 久保 寺朝二	会 長 齊藤 隆 鈴木 三好 幹人	長 齊藤 隆 三好 幹人
	監 事 総務委員	山崎 精二 石崎 幸	結城 正康 櫻井 政歳	佐藤 式也
	競技委員	*海老根 克明 阿部 章 高島 祐吉 鈴木 敏彦 山崎 善弘 北條 勤 *江川 仁 吉田 晴彦 植田 光	皆川 公 小又 洋次 根本 清 稲田 周三 笠間 良治 宮田 賢 橋本 正明	涌井 滋 桜井 正一郎 幸田 智一 *海老根 満 *小野寺 敬 嶋野 末吉 *澁口 七郎
	エチケット委 広報委員			

会員数/組数 489名(1月31日)現在 / 4組

競 技 会 記 録	回数	第170回			
		A組	B組	C組	D組
	参加人員	65名	51名	30名	49名
	優勝	阿部 章	高島 祐吉	澁口 七郎	酒井 功一
	NET	68	67	70	71
	B.G	阿部 章	涌井 滋	渡部 正義	酒井 小西内藤海老根
		88	81	79	83
	回数	第171回合同コンペ (日立ゴルフ)			
		A組	B組	C組	D組
	参加人員	45名	62名	50名	49名
	優勝	川崎 健嗣	大越 健児	山田 稔	茂角 邁
	NET	69	67	66	66
	B.G	斎藤 常次	久保 英章	池田 斎藤	植田 千秋
		86	83	81	80
	回数	第172回			
		A組	B組	C組	D組
	参加人員	44名	44名	24名	44名
	優勝	阿部 章	植田 光	野田 仁郎	海老根 満
	NET	70	71	68	69
	B.G	坊坂 明	涌井・植田・橋本・鈴木・静	渡部 正義	小西 健司
	85	84	80	76	
回数	第173回				
	A組	B組	C組	D組	
参加人員	48名	55名	26名	39名	
優勝	田島 増陸	櫻井 政歳	蓑輪 勉	金子 義和	
NET	71	66	69	69	
B.G	斎藤 常次	皆川・鈴木・静	蓑輪 勉	岡田 定五	
	88	83	80	79	
回数	第174回合同コンペ (日立ゴルフ)				
	A組	B組	C組	D組	
参加人員	39名	62名	32名	44名	
優勝	柴田 一	石川 皓	平田 敬一	池上 久也	
NET	64	69	65	70	
B.G	柴田 一	久保 英章	岡田 伸一	海老根 満	
	82	77	77	78	
回数	第175回				
	A組	B組	C組	D組	
参加人員	45名	55名	31名	51名	
優勝	田崎 健治	菅谷 恒朗	澁口 七郎	鈴木 正	
NET	67	70	69	63	
B.G	下・高根・阿部	菅谷 恒朗	岡田 伸一	今井 信一	
	90	85	81	81	

トピックス  
エージシュート賞新設  
大みかコース草取りボランティア実施  
(H14-06-19) 33名出席  
  
白戸プロレッスン会実施 (H14-12-20)

H14-4-25実施

H13年度チャンピオンシップ戦

H13年度中の競技会で3位までの入賞者及びベストグロスになられた人を対象に、H13年度末でのハンディキャップによる競技会の実施。  
対象 78名 参加40名

		G	HC	N
優勝	岡田 伸一	73	4	69
準優勝	植田 光	82	11	71
3位	野田 仁郎	89	17	72
4位	池上 久也	85	12	73
5位	竹下 一成	86	13	73
6位	内藤 凱夫	83	9	74
7位	堀内 昭一	91	17	74
8位	梅津 隆	96	22	74
9位	石崎 幸	90	15	75
10位	久保 英章	82	4	78
11位	海老根 満	87	9	78
12位	佐藤 式也	90	12	78
13位	海老根克明	85	6	79
14位	林 正廣	88	9	79
15位	桑島 敏夫	95	16	79
16位	小西 健司	83	3	80
17位	渡部 正義	83	3	80
18位	斎藤 常次	91	11	80
19位	大越 健児	95	15	80
20位	長瀬寿美雄	91	10	81





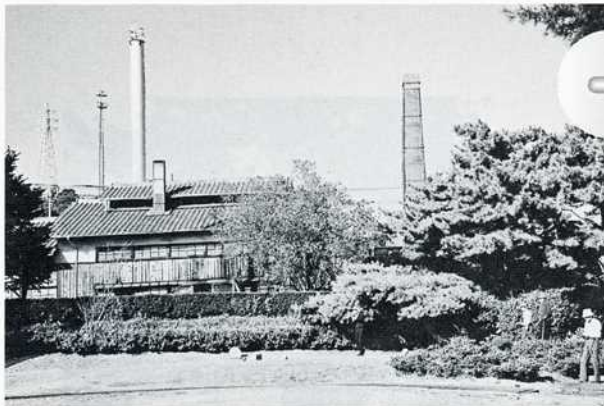
# Photo Album



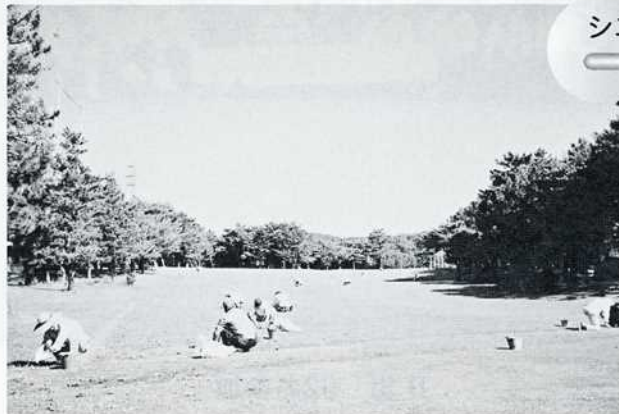
1番グリーンより日研をのぞむ



スタート前の練習グリーン



大みか陶苑



シニア会会員によるコース除草

## 第174回 競技会記念

平成14年4月11日 日立ゴルフクラブにて



A組 39名参加



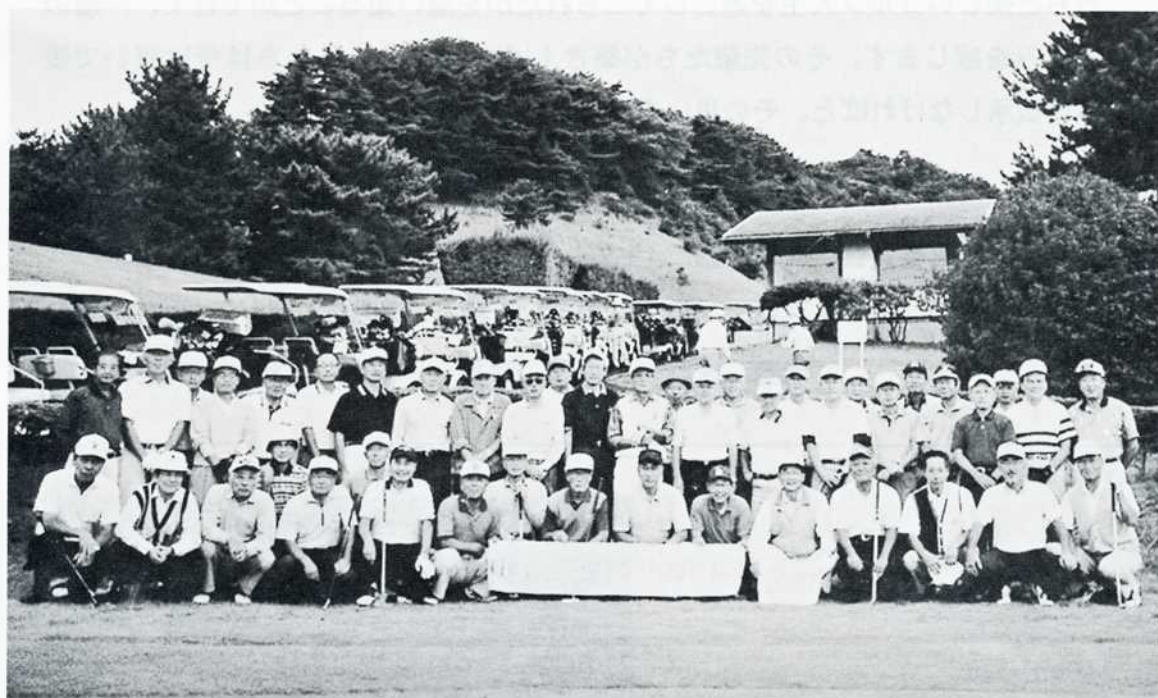
B組 62名参加

## 第174回 競技会記念

平成14年4月18日 日立ゴルフクラブにて



C組 32名参加



D組 44名参加

## 編集後記

HSG会が設立されたのは昭和48年（1973）4月ですから、平成15年4月で30年になります。この30年間の足跡はどうだったのでしょうか。当初50人だった会員は現在では10倍の500人に達しました。HSG会がこれまで歩んできた道程を一冊の本に纏めておこうという気運が盛り上がり、平成14年の総会で承認頂きました。早速「HSG会30年の歩み」編纂委員会が設立され、編集内容を審議してまいりました。

日頃からHSG会に暖かいご支援、ご援助を頂いている方々にご寄稿をお願いしましたところ、ご多用にも拘わらず気持ちよくお引き受け頂き、貴重な指針を賜り誠に有り難うございました。

まず第一に設立当初からの会員で、今もお元気な長老からの回顧を頂き、現在各委員会で活躍中の委員諸氏の言葉は、ともすれば競技会を失礼しがちな会員に励ましの糧になったのではないのでしょうか。大みかゴルフ場の沿革では、コースの歴史を知り、現在を感謝しながら将来に引き継いで行かねばと気持ちを新たにさせられました。また、多くの会員からは、私にとってゴルフとは人生の生きがいであり、健康維持に欠かせないものと、声高々にお聞かせ頂きました。

先輩たちが「HSG会」「大みかゴルフ場」をいかに愛しながら、多くの仲間たちと楽しいゴルフ人生を過ごしてこられたかを窺い知ることができて、一層の親しみを感じます。その先輩たちが築き上げたHSG会を私たちは受け継いで後輩に伝承しなければと、その思いを新たにしました。

平成15年（2003）3月

編纂委員会 久保寺朝二（主査）

石崎 幸 阿部 章 北條 勤 吉田 晴彦  
嶋野 末吉 櫻井 政歳 佐藤 弉也 海老根克明

### 三十年の歩み

発行日 平成15年4月10日  
発行所 日立シニア会 会長 斎藤 隆  
印刷所 (株)東新印刷所  
茨城県多賀郡十王町友部東2丁目6番地7  
TEL 0293 (32) 2228